The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ベトナム語におけるVÔ〔無〕ではじまる語の意味についての研究
Author(s)	チャン, クォック ヒエップ
Citation	EX ORIENTE. 2024, 28, p. 85-135
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/95005
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

◎論文

ベトナム語における VÔ〔無〕ではじまる語の意味についての研究

チャン　クォック　ヒエップ

1. はじめに

日本語と同じく、ベトナム語には古代中国語に由来する語、特に ***Từ Hán Việt*** − 漢越語（ベトナム語の漢語、*Sino-Vietnamese Vocabulary*）が多く存在している[1]［冨田　1988: 782］。古代中国から語彙を借用することが断続的に行われたとはいえ、全ての借用語が漢越語であるわけではない[2]［Nguyễn Văn Khang 2007: 61-97］。現代ベトナム語における漢越語とは、古代中国語から借用した語であり、晩唐時代の音韻を基礎とした漢越音で読まれるベトナムの語彙を指すという［Nguyễn Thiện Giáp 2018: 278］。

しかし、現代ベトナム語では、漢語に由来する語であるか固有語であるかを問わず、すべての語を *Chữ Quốc Ngữ*（チュー・クオック・グー、ローマ字の正書法）で表記するため、漢越語は、漢語に由来するものの、漢字で表記されることはない。そのため、ベトナム語の漢語、いわゆる漢越語を構成する要素は ***Yếu tố Hán Việt***（漢越要素）という。

> ***Yếu tố Hán Việt*** *(hay tiếng Hán Việt) là đơn vị ngữ pháp nhỏ nhất, có kích thước ngữ âm là một âm tiết, gốc Hán, đọc theo cách đọc Hán Việt, được sử dụng trong tiếng Việt.*

［Lê Xuân Thại 2018: 89］

（漢越要素とは、音声面では一音節に相当し、漢語由来で、漢越音で読まれる、ベトナム語の中で使用される最小の文法単位（形態素）の一つである。）

漢越要素は次のように、大きく 2 つの種類に分類される［Nguyễn Tài Cẩn 2000: 20］。一つは、*tuyết*〔雪〕（ゆき）、*học*〔学〕（学ぶ）、*thân*〔親〕（親しい）[3] のように、単音節でありながら、それ単体で漢越語として成り立つものである。もう一つは *quốc*〔国〕、*gia*〔家〕のような要素で、単独で語にならず、ほかの漢越要素と組み合わせて *quốc gia*〔国家〕のような多音節漢越語を構成するものである。本稿で扱う ***vô***〔無〕は後者に分類される。漢越要素である ***vô***〔無〕は *bất*〔不〕、*phi*〔非〕、*vị*〔未〕と同じく、否定の意を表す機能を持っているため、造語能力が高い。一方、***vô***〔無〕は *vô số*〔無數〕、*vô giá*〔無價〕、*vô khối*（無塊）などでは、その否定性が確認されない。むしろ、***vô***〔無〕が後ろの要素の意味をさらに強調し、「多い」の意味を表している。このように、ベトナム語の ***vô***〔無〕ではじまる語には、特殊な意味があると言える。

本稿は、日越両言語における「無」ではじまる漢語を対象とする研究の一環として、次のような 3 つの目的がある。第一に、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる漢越語を対象に、その意味、特に特殊な意味を明確にする。第二に、先行研究を俯瞰しながら、それらの ***vô***〔無〕ではじまる語における特殊な意味を語用論、認知言語学の観点から分析する。第三に、ベトナム語における ***vô***〔無〕の意味を再考し、ベトナム語における ***vô***〔無〕の受容・発展の特徴を指摘することを目指す。

2. 先行研究とその問題点

管見の限り、ベトナム語における ***vô***〔無〕について考察した研究は多くな

い。主に、***vô***〔無〕が否定を表す漢越要素として、同じく否定性を表すほかの漢越要素と対照し、その意味特徴を指摘した研究が多い。代表的なものには Phan Ngọc 1991 がある。Phan Ngọc 1991 は、***vô***〔無〕を ***bất***〔不〕や ***phi***〔非〕と対照した。まず、***bất***〔不〕は絶対的な否定性を表しているのに対して、***vô***〔無〕は単に“***không có***”（NEG・ある：～がない）を意味していると述べている。

（1）a. ***bất tài***〔不才〕：才能が一つもない、絶対ない。
vô tài〔無才〕：才能が無いが、将来的には才能を持つようになるかもしれない。
b. ***bất định***〔不定〕：どうしても場所を確定できないさま。
vô định〔無定〕：今、具体的な場所が分からないさま。
c. ***bất nhân***〔不仁〕：仁愛に背く。
vô nhân〔無仁〕：仁愛がないさま。
d. ***bất luận***〔不論〕：～を問わず、にもかかわらず。
vô luận〔無論〕：～であろうとも。

［Phan Ngọc 2002: 104］

（1）で示したように、***vô***〔無〕は存在の否定を意味的な特徴とし、後置される漢越要素の表す物事の存在を否定している。また、否定の強さについて、（2）で Phan Ngọc 1991 は ***phi***〔非〕が後ろに言及される事物を除外すると同時に、非難するニュアンスが読み取れるが、***vô***〔無〕にはそれほど強い非難するニュアンスはないと指摘している。

（2）a. ***phi lễ***〔非禮〕：礼儀をないがしろにする。
vô lễ〔無禮〕：礼儀作法が至らない。
b. ***phi lý***〔非理〕：道理に逆らう。
vô lý〔無理〕：道理に合わない。

［Phan Ngọc 2002: 104-105］

このように、否定の意を持つ *bất*〔不〕、*phi*〔非〕などの漢越要素が同じ要素と結合した派生語から、***vô***〔無〕の意味が明かになっている。つまり、ベトナム語における ***vô***〔無〕の意味は、後置される要素の表す対象が「存在しない」、いわゆる存在の否定を表し、マイナスのイメージを語義に付加するものだと言えよう。

語構成に関して、***vô***〔無〕が漢越要素だけでなく、ベトナム語の固有語とも結合することがある。このような語では、特殊な意味が確認されることが多い。Nguyễn Đình Hòa 1997 は（3）のような実例とその英語の対訳を取り上げた。

（3）***vô chừng***〈無・程〉：*extremely*（限りが無い、際限がない）
vô kể〈無・語る〉：*extremely, innumerable*（数えきれないほど多い）
vô lo〈無・懸念する〉：*carefree*（心配事がない、無考えな）
vô lối〈無・道〉：*wrongly, for no reason*（無闇な、先考えずの）
vô thiên lủng〈無・天・数えられる〉：*plenty of, tons of*（無数の）
［Nguyễn Đình Hòa 1997：62、日本語訳は筆者による］

Nguyễn Đình Hòa 1997 によると、***vô***〔無〕ではじまる語と英語対訳の対応を検討すると、ベトナム語の ***vô***〔無〕は意味的に、英語の否定的接辞の「***un-, im-, -less***」で対応されることが多い。例を挙げると、***vô danh***〔無名〕- ***un****known*、***vô lễ***〔無禮〕- ***im****polite*、***vô gia cư***〔無家居〕- *home****less*** などである。だが、Nguyễn Đình Hòa 1997 は（3）を通じて、***vô***〔無〕は、ベトナム語のいくつかの固有語に付加され、慣用的な表現を生成するとも述べている。ここでは、***vô***〔無〕が接頭辞として扱われ、一部の語で特殊な意味が発生していることを示唆している。

Đỗ Phương Lâm 2003 は ***vô***〔無〕の意味の特徴だけでなく、その文法的特徴

も追求した。Đỗ Phương Lâm 2003 は古代中国語の「無」と現代ベトナム語の ***vô***〔無〕を以下の 3 点において検討している。一つ目に、古代中国語における「無」は文のなかで、動詞、名詞、形容詞の前に前置される形で使われ、かなり独立的な否定辞であった。しかし、現代ベトナム語において、漢越語を構成する要素として、***vô***〔無〕の機能と使用範囲が本来の用法と比べて、縮小されている。漢語に由来することわざ（4a）にせよ、ベトナム語によって新しく造られたことわざ（4b）にせよ、文中に出現した ***vô***〔無〕は否定辞の一つとして「～ではない、～がない」を意味し、漢語としての本来の機能と同じ役割を果たしている。しかし、（4c）では ***vô***〔無〕が ***vô học***〔無學〕の漢越語を構成する機能のみであり、文の否定性には関与していないことが分かる。

（4）a. *Nhân* ***vô*** *thập toàn.*
人　無 -NEG　十全
（人間であれば、誰でも短所がある。）

b. *Lòng tham* ***vô*** *đáy.*
欲張り　無 -NEG　底
（欲には底が無い。）

c. *Anh ta thật* ***vô*** *học.*
彼　とても　［無學］
（彼は実に無学だ。）

二つ目に、***vô***〔無〕ではじまるベトナム語の語は数多くあるものの、結合できる要素（便宜上、以下「X」という）は任意的ではなく、名詞又は動詞に限定されていると指摘している。しかし、X が単独で動詞として機能しても、***vô***〔無〕と結合すると、名詞の省略としても認めるべきと Đỗ Phương Lâm 2003 が述べている。

（5）a. ***vô địch***〔無敵〕の ***địch*** が「敵する」ではなく、***địch thủ***〔敵手〕を

指す。

b. ***vô học***〔無學〕の ***học*** が「学ぶ」ではなく、***học thức***〔學識〕を指す。

c. ***vô luận***〔無論〕の ***luận*** が「論ずる」ではなく、***nghị luận***〔議論〕を指す。

［Đỗ Phương Lâm 2003: 7］

三つ目に、「vô ＋ X」は X に動詞性が確認される場合、***vô***〔無〕の意味はまったく同じではなく、（6）で示しているように、それぞれが別の表現で言い換えられる。

（6）a.「 ***không* X**（X しない）」：***vô lo***〔無・心配する〕（考えない）、***vô tư***〔無思〕（思慮しない）、***vô luận***〔無論〕（論じない）、***vô úy***〔無畏〕（恐れない）

b.「***không thể* X**（X できない）」：***vô kể***〔無・語る〕（数えきれない）、***vô tri***〔無知〕（知覚できない）、***vô địch***〔無敵〕（敵できない）、***vô vọng***〔無望〕（希望できない）

c.「***không được* X**（X されない）」：***vô thừa nhận***〔無乗認〕（承認されない）

［Đỗ Phương Lâm 2003: 8］

意味や語構成の側面のほか、ベトナムの研究者が ***vô***〔無〕を統語論の面からも研究している。Cao Xuân Hạo 1985 は漢越語の修飾関係がベトナム語固有の修飾関係と逆であることについて論じた際、***vô lý***〔無理〕（不合理な）を一例として、漢語の修飾関係がベトナム語に新しい構成を与えることで、言葉により抽象的なイメージを持てるようになり、認識面で有利であると述べている。

（7）***vô lý***〔無理〕＝　***vô***〔無〕　＋　***lý***〔理〕
機能：*vị từ*〔謂詞〕　*bổ ngữ*〔補語〕[4]
意味：「～が無い」　「理屈・理論」
［Cao Xuân Hạo 2017: 251］

（7）の構成では、***vô***〔無〕は否定の意を表す名詞修飾の機能を有し、後置される結合要素 lý〔理〕の意味を限定する。一方、***lý***〔理〕が、いわゆる目的語で ***vô***〔無〕が言及する対象であるとも考えられるため、***vô lý***〔無理〕のような漢越語に対して、ベトナム語母語話者はその内面にある統語的な側面を分析し、それぞれの漢越要素を固有語で言い換えて意味解釈することができる。そのため、語のレベルではなく、文のレベルで理解できるようになる。

vô〔無〕は本来、否定を表す機能語であったため、固有語による否定表現“***không có***”の意味に相違ないと思われる。そのため、(8a）の「無益」は（8b）の「利益がない」と解釈されても、意味の差は認められない。だが、(9）では、vô〔無〕と“không có”が副詞“hơn”（より）と共起すると、大きな差異が出てくると Cao Xuân Hạo 1985 は指摘している。

（8）a. Cái này ***vô*** ích.
これ　無益な
（これは無益である。）
b. Cái này ***không có*** ích.
これ　NEG　ある　利益
（これは利益がない。）
［Cao Xuân Hạo 2017: 254］

（9）a. Cái này ***vô ích*** ***hơn*** cái đấy.
これ　無益な　より　それ
（これはそれより無益である。）

b. Cái này ***không*** ***có ích*** ***hơn*** cái đấy.
これ　NEG　有益な　より　それ

（これはそれより有益というわけではない。）

［Cao Xuân Hạo 2017: 254 に基づいて加筆］

（9）の例文にある *Cái này*（これ）を P、文脈に出現した *Cái đấy*（それ）が Q とすれば、（9a）では【P ＞ Q】を意味し、（9b）では【P ＝ Q】を意味しており、意味の相違点が確認できる。Cao Xuân Hạo 1985 によれば、（9a）では［（vô ích）＋ hơn］のように意味が解釈されるものの、（8b）では［không ＋（có ích ＋ hơn）］のように意味が形成されるため、“*vô ích*”と“*không có ích*”との間で意味の相違が発生している。具体的に、（9a）では、否定を表す漢越要素 *vô*〔無〕が単独で副詞“*hơn*”と共起できず、*vô ích*〔無益〕が一語で“*hơn*”と共起する。一方で、（9b）では“*không*”はベトナム語の典型的な否定辞[5]として機能するため、“*có ích*”と分離して、文の否定を表す機能語になる。つまり、*vô ích*〔無益〕はそれぞれの構成要素を固有語で言い換えるため、その語に内在する文法関係、統語関係をたどれば意味を解釈できるが、文や発話の成分として、任意に解釈できない。このように、Cao Xuân Hạo 1985 はベトナム人が漢越語を固有語に変換して安易に意味を説明できる点を踏まえて、***vô***〔無〕ではじまる漢越語の内部構造に否定性を含意する語構成を有する可能性を提示している。しかし、***vô***〔無〕ではじまる漢越語は、構造が非常に緊密で、他の要素に干渉されないことをも指摘している。このように、***vô***〔無〕は否定の意を持つ漢越要素であっても、構成される語の構成要素にとどまり、それからなる漢越語は語として、意味を安易に解釈できないことがうかがえる。

(2) 先行研究の再考と問題提起

ここまで検討した先行研究においては、ベトナム語における ***vô***〔無〕は意味論、語構成、統語論などの多くの面で研究されているが、***vô***〔無〕をあくま

でも漢越語を構成する要素として、語レベルで検討すべきと思われる。そのため、***vô***〔無〕を追究する際、漢越語の意味、語構成を中心に検討されていることが理解できる。また、先行研究で示しているように、***vô***〔無〕のような漢越要素は、漢越要素が単独で語にならないため、別の要素と組み合わせて作りだされた複合語を通じて把握できる。そのため、***vô***〔無〕の意味を解釈する際、***vô***〔無〕ではじまる漢越語を単位として分析しなければならないと考えられる。基本的に、***vô***〔無〕がベトナム語の固有語“*không có*”で言い換えられるため、ベトナム語における ***vô***〔無〕の典型的な意味は「ない、存在しない」だと思われる。

（10）a. ***vô cảm***〔無感〕：*không có cảm xúc*（感情がない）
vô chủ〔無主〕：*không có chủ*（持ち主が居ない）
vô phúc〔無福〕：*không có phúc*（福がない）
b. ***vô giá***〔無價〕：?? *không có giá*（値段がない）
→ *rất có giá trị*（貴重な）
vô lượng〔無量〕：?? *không có lượng*（量がない）
→ *rất nhiều*（とても多い）
vô số〔無數〕：?? *không có số*（数がない）
→ *không thể kể hết*（数えきれない）
vô hồi〔無回 / 無廻〕：?? *không có hồi*（回数がない）
→ *rất nhiều lần*（回数が多い）
vô khối（無塊）：?? *không có khối*（塊がない）
→ *rất nhiều*（とても多い）

（10）を見れば、（10a）では、***vô***〔無〕が固有語の“*không có*”で説明されているため、漢越語の意味を容易に理解できると思われる。その反面、（10b）では ***vô***〔無〕を“*không có*”で説明できない。もし、強いて ***vô***〔無〕を“*không có*”で説明すると、語の解釈は不自然な表現になる。（10b）では、ベトナム語

辞典の記述によれば、それぞれ「多い」意味をもっていることが確認できた。その中で、ベトナム語の ***vô giá***〔無價〕は「貴重だ」、***vô số***〔無數〕は「数えきれない」、***vô lượng***〔無量〕は「測れない」と解釈され、古代中国語、日本語における「無数」、「無量」などと「多い」という意味を共有している。一方で、（10b）で示しているように、ベトナム語における ***vô hồi***〔無回〕、***vô khối***（無塊）などベトナムで独自に造られた言葉においても、「多い」という意味特徴をもっている。このように、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語は典型的な意味、つまり「存在性の否定」の他に、「多い」のような特殊な意味が発生したと思われる。

ただし、チャン 2022 による日本語の「無」ではじまる語の意味の研究では、「無」自体が、典型的な否定の意味だけでなく、特殊な意味特徴も表せることを指摘している。特に、「多い・少ない」という存在の多寡により、「甚だしさ」の程度を評価することで、「良い･良くない」という語義が発生する［チャン　2022: 192-195］。このように、古代中国語から借用した「無」とそれからなる漢語を共有しているベトナム語は、日本語の「無」のような特殊な意味も共有しているのだろうか。あるいは、ベトナム語の ***vô***〔無〕の特殊な意味は日本語の事情と異なっているのだろうか。この点に関しては、先行研究で十分に指摘されていないままである。本稿はベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語について、特殊な意味特徴を確認し、その発生のメカニズムを解明することで、その課題を解決する。

3. 考察

本稿はベトナム語における ***vô***〔無〕の意味を分析し、***vô***〔無〕の特殊な意味を究明するために、まずは ***vô***〔無〕からなる語を考察しなければならない。本稿は ***vô***〔無〕ではじまる語を、漢越語と混種語に大別している。

(1) *vô*〔無〕ではじまる漢越語

vô〔無〕はベトナム語の多くの漢越語・表現を構成している。本稿は、語の音節数をもとに、そのような語を（11）に整理している。

（11）a. 二音節漢越語：*vô bào*〔無胞〕、*vô biên*〔無邊〕、*vô bổ*〔無補〕、*vô cảm*〔無感〕、*vô can*〔無干〕、*vô căn*〔無根〕、*vô chủ*〔無主〕、*vô cơ*〔無機〕、*vô cùng*〔無窮〕、*vô cực*〔無極〕、*vô danh*〔無名〕、*vô dụng*〔無用〕、*vô duyên*〔無緣〕、*vô đạo*〔無道〕、*vô địch*〔無敵〕、*vô định*〔無定〕、*vô độ*〔無度〕、*vô đối*〔無對〕、*vô giá*〔無價〕、*vô hại*〔無害〕、*vô hạn*〔無限〕、*vô hậu*〔無後〕、*vô hiệu*〔無效〕、*vô hình*〔無形〕、*vô học*〔無學〕、*vô hồi*〔無回〕、*vô hồn*〔無魂〕、*vô ích*〔無益〕、*vô lại*〔無賴〕、*vô lễ*〔無禮〕、*vô lí*〔無理〕、*vô loại*〔無類〕、*vô luân*〔無倫〕、*vô luận*〔無論〕、*vô lực*〔無力〕、*vô lương*〔無良〕、*vô lượng*〔無量〕、*vô minh*〔無明〕、*vô mưu*〔無謀〕、*vô năng*〔無能〕、*vô nghĩa*〔無義〕、*vô nghiệm*〔無驗〕、*vô ngôn*〔無言〕、*vô nhân*〔無仁〕、*vô phúc*〔無福〕、*vô phương*〔無方〕、*vô sản*〔無産〕、*vô sỉ*〔無恥〕、*vô sinh*〔無生〕、*vô song*〔無雙〕、*vô số*〔無數〕、*vô sự*〔無事〕、*vô tài*〔無才〕、*vô tâm*〔無心〕、*vô tận*〔無盡〕、*vô thanh*〔無聲〕、*vô thần*〔無神〕、*vô thức*〔無識〕、*vô thường*〔無常〕、*vô thượng*〔無上〕、*vô tỉ*〔無比〕、*vô tình*〔無情〕、*vô tính*〔無性〕、*vô tội*〔無罪〕、*vô tri*〔無知〕、*vô trùng*〔無蟲〕、*vô tuyến*〔無線〕、*vô tư*〔無私〕、*vô tư*〔無思[6]〕、*vô úy*〔無畏〕、*vô ước*〔無約〕、*vô vi*〔無為〕、*vô vị*〔無味〕、*vô vọng*〔無望〕、*vô ý*〔無意〕など.

b. 三音節漢越語：*vô căn cứ*〔無根據〕、*vô chính phủ*〔無政府〕、*vô cùng tận*〔無窮盡〕、*vô điều kiện*〔無條件〕、*vô định hình*〔無定形〕、*vô gia cư*〔無家居〕、*vô giá trị*〔無價値〕、*vô giáo dục*〔無教育〕、*vô kỳ hạn*〔無期限〕、*vô kỉ luật*〔無紀律〕、*vô liêm sỉ*〔無廉恥〕、*vô lương*

tâm〔無良心〕、*vô nguyên tắc*〔無原則〕、*vô nhân đạo*〔無仁道〕、*vô thời hạn*〔無時限〕、*vô tư lự*〔無思慮〕、*vô thừa nhận*〔無乘認〕、*vô tích sự*〔無積事〕、*vô tổ chức*〔無組織〕、*vô trách nhiệm*〔無責任〕、*vô ý thức*〔無意識〕、*vô ý tứ*〔無意思〕など.

c. ことわざ①[7]：*vô ảnh vô tung*〔無影無踪〕、*vô căn vô đế*〔無根無蒂〕、*vô câu vô thúc*〔無拘無束〕、*vô cùng vô tận*〔無窮無盡〕、*vô duyên vô cớ*〔無緣無故〕、*vô đầu vô vĩ*〔無頭無尾〕、*vô hình vô ảnh*〔無形無映〕、*vô học vô thuật*〔無學無術〕、*vô lượng vô biên*〔無量無邊〕、*vô pháp vô thiên*〔無法無天〕、*vô quân vô phụ*〔無君無父〕、*vô sư vô sách*〔無師無冊〕、*vô tâm vô tính*〔無心無性〕、*vô thanh vô xú*〔無清無臭〕、*vô thủy vô chung*〔無始無終〕、*vô thưởng vô phạt*〔無償無罰〕、*vô tri vô giác*〔無知無覚〕、*vô ý vô tứ*〔無意無思〕など.

d. ことわざ②：*vô chứng bất thành tụng*〔無証不成訟〕、*vô cai quản bất đắc hành hạ*〔無該管不行下〕、*vô danh tiểu tốt*〔無名小卒〕、*vô dực như phi*〔無翼如飛〕、*vô đậu bất thành nhân*〔無豆不成人〕、*vô địa lập chùy*〔無地立錐〕、*vô họa nạn bất anh hùng*〔無禍難不英雄〕、*vô hồi kì trận*〔無回其陣〕、*vô hữu bất như kỷ giả*〔無有不如己者〕、*vô kế khả thi*〔無計可施〕、*vô khả nại hà*〔無可奈何〕、*vô nam dụng nữ, vô tử dụng tôn*〔無男用女 , 無子用孫〕、*vô nhân bạc nghĩa*〔無仁薄義〕、*vô phúc đáo tụng đình*〔無福到訟廷〕、*vô phược kê chi lực*〔無縛雞之力〕、*vô tiền khoáng hậu*〔無前曠後〕、*vô trung sinh hữu*〔無中生有〕、*vô tửu bất thành lễ*〔無酒不成禮〕、*vô vận bất năng tự đạt*〔無運不能自達〕、*vô vọng bất thành quan*〔無望不成官〕など.

語構成に注目すると、二音節漢越語、つまり ***vô***〔無〕と一つの漢越要素からなる語は、ベトナム語で多く確認されており、後ろの要素は単独で自立語

であるか複合語を構成する要素でもある。例を挙げると、***vô ích***〔無益〕の *ích*〔益〕は名詞として「益、利益」を意味する一方、***vô dụng***〔無用〕の *dụng*〔用〕は単独で使えば「用いる[8]」を意味するが、それよりも、*công dụng*〔効用〕（効果）、*tác dụng*〔作用〕（効き目）などの多音節漢越語において使われることが多く、「役立つさま」を意味している。そのため、*dụng* のような後ろの要素は何かしらの熟語の省略であるため、意味を分析する際、*công dụng*〔効用〕、*tác dụng*〔作用〕のような熟語を再現しなければならない。三音節漢越語に関して、ベトナム語は ***vô***〔無〕が否定的な接頭辞として、後ろの二音節漢越語の前に冠されている。つまり、語は「***vô***〔無〕＋二音節漢越語」の構造を持っている。後ろの二音節漢越語は単独で自立語であり、意味が語義全体に寄与する。四字熟語のことわざ①では、***vô***〔無〕が二回に使われるものが多い。つまり、ベトナム語における四字熟語は「***vô*** X ***vô*** Y」の構造を持っていることが多い。また、この四字熟語の構成を見れば、***vô***〔無〕と結合する 2 つの漢越要素（XY）は実は一つの熟語を構成している。例を挙げると、***vô học vô thuật***〔無學無術〕では *học thuật*〔學術〕、***vô hình vô ảnh***〔無形無影〕では *hình ảnh*〔形影〕、***vô thưởng vô phạt***〔無償無罰〕では *thưởng phạt*〔賞罰〕などで二音節漢越語の構成要素であることが確認できる。この「***vô*** X ***vô*** Y」という使い方は中国語の「無 X 無 Y」に由来している。この用法の「無」は、意味が同じ、あるいは近い二つの単語や形態素の前で用いられ、「全く～がない」ことを意味する。つまり「存在性の否定」を強調する。ベトナム語では、この「無」の使い方が固有語にも適応される。例を挙げると、***vô lo vô lự***〈無・懸念する・無慮〉（身辺に心配事がなに一つない、憂うことが少しもなくて心が晴れ晴れしている）、***vô sừng vô sẹo***〈無・角・無・傷跡〉（餓鬼で礼儀を知らず）、***vô tăm vô tích***〈無・消息・無跡〉（消息不明、何の音沙汰もない）がある。最後に、ことわざ②に使われる ***vô***〔無〕は、ベトナム語が古代中国語からそのまま受け入れてきたものと、多少改変されたものがある[9]。このことわざでも、***vô***〔無〕は直後の要素に否定の意を与える。

(2) ***vô***〔無〕ではじまる混種語

一方で、***vô***〔無〕がベトナム語の固有語であるXと結合し、数は多くないものの、混種語を作っている。しかし、Xの由来を考慮すると、このような言葉は大きく2つに分けられる。一つ目は、(12a)のように、Xが越化漢越要素である。もう一つは、(12b)のように、Xがベトナム語の固有要素である。

(12) a. *vô cớ*〔vô cố − 無故〕、*vô khối*（無塊）[10]、*vô loài*〔vô loại − 無類〕、*vô ngần*〔vô ngân − 無垠〕、*vô vàn*〔vô vạn − 無萬〕、*vô ơn*〔vô ân − 無恩〕、*vô phép*〔vô pháp − 無法〕など.

b. *vô bờ*〈無・岸〉(限りがない)、*vô bờ bến*〈無・岸・渚〉(限りのない)、*vô chừng*〈無・程〉(限りがない)、*vô kể*〈無・語る〉(数えきれないほど多い)、*vô lẽ*〈無・訳〉(理由もないしに)、*vô lo*〈無・懸念する〉(無考えな)、*vô lối*〈無・道〉(無闇な)、*vô lủng*〈無・数えられる〉(数え切らないほど多い)、*vô thiên lủng*〈無・天・数えられる〉(数え切れないほどの)、*vô tội vạ*〈無・罪・禍〉(誰にもお構いなしの)など.

(12)から見ると、ベトナム語においては、***vô***〔無〕と固有語の要素と結合する語が多くない。つまり、全ての固有要素は、***vô***〔無〕と結合することができるというわけではない。ただし、この混種語では、「程度が甚だしい」を意味している語が多い。

4. ***vô***〔無〕ではじまる語の意味について

本稿は、Vietlex 2020の『*Từ điển Tiếng Việt*』(以下「TĐTV」と略す)の記述と***vô***〔無〕の初歩的分析を行った結果、ベトナム語における***vô***〔無〕ではじまる語は典型的な意味“***không có***”「〜がない」という否定的な意味の他、チャン2022が追究した日本語の「無」ではじまる語と同じく、特殊な意味が存在

すると想定している。その特殊な意味は大きく 2 つに分けられる。一つ目に、***vô***〔無〕ではじまる語は「全くない」ではなく、「ある」の意味を表し、更に「多い」「少ない」といった量的価値を表している。二つ目に、***vô***〔無〕ではじまる語・表現の意味を通じて、人間が「良い・悪い」という程度評価を表せる。つまり、***vô***〔無〕ではじまる語には量的価値と質的価値がある。ここでは、辞典の定義と実例から、ベトナム語の特殊な意味特徴があるかどうか検証する。

(1) 量的価値を表す意味特徴

まず、ベトナム語辞典の記述によれば、***vô***〔無〕ではじまる漢越語のなかには、「多い」という意味特徴を持っている語が多くある。辞典の記述によれば、***vô giá***〔無價〕は「非常に貴重で、その価値を具体的な値段でつけられないほど高いさま」[TĐTV 2020: 1773]、***vô lượng***〔無量〕は古い語で「何を使っても計り切れないほど多い」[TĐTV 2020: 1775]、***vô số***〔無數〕は「とても多くて、数えきれない。枚挙にいとまがない」[TĐTV 2020: 1776] と示すように、「多い」の意味が確認できる。

(13) a. *Ông　muốn　cuốn　sách　**vô giá**　này　trở nên　miễn phí.* [11]
*彼　～したい　CLF　本　［**無價**］　この　なる　無料*
*（彼はこの**貴重な**本がタダになることを望んでいる。）*

b. *Thế giới là　nơi　**vô lượng**, vô biên, không thể　lường nghĩ được.*
*世界　COP　所　［**無量**］　無辺、　NEG　できる　思い測る　RES*
*（世界は**無量**無辺、計り知れない場所である。）*

c. ***Vô số**　dự án　"giải cứu",　sân bay　Tân Sơn Nhất*
*［**無數**］案件　救助、　空港　タン・ソン・ニャット*
vẫn…　tắc.
まだ　混んでいる
*（「救助」プロジェクトが**数えきれないほど多く**出されたが、タン・*

ソン・ニャット空港周辺はひどい渋滞を繰り返している。）

日本語と共通している以上の語のほか、ベトナム語には「多い」という意味特徴を持っている独自の語もある。***vô khối***（無塊）は「とても多い、正確な数字を把握できないさま」ということを意味している［TĐTV 2020: 1774］。これは ***khối***（極めて多い）の意味をさらに強調している。***vô vàn*** は *vô vạn*〔無萬〕から派生したが、「万がない」ではなく、「正確な数字で把握できないほど、量が多い、または程度が高いさま」を意味している［TĐTV 2020: 1777］。***vô kể***〈無・語る〉は動詞の ***kể*** が「数える、語る」を意味しているが、意味としては形容詞的に、「数えきれないほど～」を指す。

（14）*a. Mỹ nó còn có* ***vô khối*** *thứ, toàn những thứ tốt*
*米国 まだ ある［**無塊**］もの（武器）、全部 PL もの 良い*
bằng mấy.
ずっと
*（アメリカは**ものすごい**種類の武器があり、どれも良いものだ。）*

b. Kỷ niệm, ***vô vàn*** *kỷ niệm vẫy gọi và thôi thúc anh tiến bước trên đường.*
*思い出［**無萬**］思い出 招く と 促す 彼 進む に 道*
*（思い出、**無数の**思い出が歩を前に進めるように彼を促す。）*

c. Thực ra, bạn trai và những người đàn ông theo đuổi tôi thì
実は、ボーイフレンド と PL 男 追いかける 私 は
nhiều ***vô kể****.*
*多い **語りきれない**。*
*（実は、あたしに言い寄ってきた男たちは**数えられないほど**たくさんいる。）*

また、文脈を検討すると、「多い」という特殊な意味を持っている言葉も確認されている。***vô độ***〔無度〕は「節度がない、過度の」［TĐTV 2020: 1773］

主にマイナス的イメージがある対象（15a の *lòng tham*（貪欲）など）と共起するため、良くない意味を持つようになっている。***vô hồi***〔無回〕は「言い切れないほど程度が甚だしい」［TĐTV 2020: 1774］を意味している。

（15）*a. Cặp　sát thủ　song sinh　chuyên　tiêu diệt　thành công　là　tính　thiếu*
ペア　殺し屋　双生　専門にする　滅ぼす　成功　COP　性　少ない
*kiên nhẫn　và　lòng tham　**vô độ**.*
*我慢　と　貪欲　［**無度**］*
*（成功を消滅させる“双子の殺し屋”は忍耐のなさと、**底を知らない**欲望をその性としている。）*

b. Thử　xét　cả　cuộc　lịch sử　dân　An Nam　ta　là　một
～てみる　考慮する　全部　CLF　歴史　民族　安南　我々　COP　一
*cuộc　“Nam tiến”　**vô hồi**　vô hạn.*
*CLF　南進　［**無回**］　無限*
*（我がアンナン人の歴史を考えてみるに、それは**限りのない**「南進」であろう。）*

vô độ〔無度〕は文字通り「節度がない」と解釈されるが、「過度の、度を過ぎたさま」を意味するため、「多い」という意味を暗示している。***vô hồi***〔無回〕は文字通りに解釈される「回数が無い」ではなく、「回数が数えられないほど多い」「回数が表現できないほど多い」ということを意味している。「多い」以外に、***vô độ***〔無度〕と ***vô hồi***〔無回〕は程度も表している。（15）の事例からみれば、その程度が「激しい、甚だしい」の意を読み取れる。このようにベトナム語における「多い」の意味特徴は「甚だしい」とともに共起することが確認できた。

チャン 2022 によれば、日本語の「無勢＝人数が少ないこと」、「無人＝人手が足りない」、「無礼＝礼儀を尽くさないこと」、などの漢語は、辞典記述であっても、「少ない」という意味特徴が明記されている［チャン　2022: 186］。

ベトナム語辞典を検索したところ、明確に「少ない」と言及されているのは、***vô duyên***〔無縁〕のみである。その定義は「かわい気がない、色気がない、魅力がない」と同時に、「上品さ、可愛さが欠ける」と意味しているように、その意味特徴として「少ない」を読み取ることができる。

（16）*a. Cái câu　Bắc kỳ　vừa rồi　mới nghe　thấy　được　nhưng*
CLF 言葉　“バッキー（北圻）”　先ほど　聞いたばかり　思う　オーケー　が
*nghe　lâu　**vô duyên**　lắm,　nếu　không　muốn　nói　là　bố bậy.*
*聞く　長い　[**無縁**]　とても、もしも　NEG　〜たい　言う　COP　でたらめ*
*（"Bac　Ky（北圻）”と聞で、当初は面白いと思ったが、何回も聞かされると、品位に欠けるどころか、**無礼**だと言いたくなる！）*

*b. May mắn, bằng câu nói **vô duyên** đó, tôi　đã　kéo　được　những　cái đầu*
幸い、　で　発言　[**無縁**]　その、私　*ANT*　引く　*RES　PL　CLF*　頭
đang　nóng giãy　dòng　nham thạch　ký　ức　mau　chóng　trở　về　với
PROG　灼熱　流れ　溶岩　記憶　迅速　戻る　と
đời　thường　lắm　vặt vãnh　lo toan.
日常生活　多い　些細な　心配
*（幸いに、私の**滑稽な**言葉で、灼熱の溶岩が燃えるような記憶から、頭を些細な心配事の多い日常生活に引き戻せた。）*

（16a）では、***vô duyên***〔無縁〕が辞典の記述と同じく、「面白みがない」さらに「無礼」までに感じられるように、悪い意味合いを持っている。一方で、（16b）では、波線部分を考えると、***vô duyên***〔無縁〕の「滑稽さ」は「緊張している状態を和らげたことで、いつもの状態に戻す」と理解することができる。つまり、***vô duyên***〔無縁〕はプラスの効果もあると言える。***vô duyên***〔無縁〕と見られることが「適当なさま」ではなく、適切な時間、場面で使えば、「笑い・喜び」を作り出し、「緊張感を緩和することができる」という人間の認知を反映している。この点について、久保 2016 は「語彙内在型価値とは、語

に本来的に内在している価値を指し、文脈依存型価値とは、ある語が文脈のなかに組み込まれることによってはじめて立ちあらわれる価値を指す。」と述べている［久保　2016: 30］。つまり、言葉の意味および価値はその他の言葉や表現と関連していると考えられる。（17）のように、***vô***〔無〕ではじまる語には「少ない」という意味特徴があることを確認するために、文脈を検討しなければならない。

（17）*a. Nhà tôi* ***vô phúc*** *nên mới vớ phải một nàng dâu như thế.*
*我が家［**無福**］～になる 迎える ～ざるをえない 一 嫁 そのような*
（家はご先祖様の福徳に恵まれなかったから、あんな嫁さんを迎えてしまった。）
→福が少ないため、良くない嫁をもらった。

b. Hùng mở to đôi mắt màu nước ròng ***vô cảm*** *rọi thẳng vào cô.*
*フン 見開く 目 色 潤い［**無感**］当てる まっすぐ に 彼女*
*（フンは**無感情な**目を大きく見開いて、彼女をじっと見つめる。）*
→彼女に見つめるから、感情がないと言えない。憎んでいるかもしれない。

c. *Năm nay chị Hồng mười chín hay hai mươi nhỉ ? Tính cô* ***vô tâm*** *thế đấy.*
*今年 ホンさん 19歳 か 20歳 の？性格（女）私［**無心**］だよね*
（ホンさんは今年19歳か20歳ですか？私はうっかりしていたわね。）
→年齢を知らなかったことを謝っているため、関心度がある。

（17）では、***vô***〔無〕ではじまる語は、特に人間の道徳・品位にかかわる語では、「少ない」という意味特徴を確認することができた。これは、***vô***〔無〕の原義は「ない」であるが、量のスケールで「少ない」という意味に近いためである。Langacker 1991 よれば、「ある対象を把握したり指示する際、その対象を直接把握するのに何等かの困難を伴う場合に、別のより把握しやすいものあるいはすでによくわかっているものを参照点（*Reference point*）として活用

し、本来把握したい対象をとらえる」という［Langacker 1991: Ch.6］。このように、***vô***〔無〕が「ない」という原義によって本来的に把握しやすいため、それによって規準がないと把握できない「少ない」を表せるのではないだろうか。

(2) 質的価値を表す意味特徴

前節で述べたように、***vô***〔無〕ではじまる語においては、人間が評価を下す「良い」と「悪い」の意味合いが多くの語で確認されている。まずは、***vô giá***〔無價〕を通じて「良い」意味特徴を考察する。

（18）*Sự hồi phục của những bệnh nhân là những món quà* ***vô giá*** *với*
*回復　POSS PL　病人　COP PL プレゼント［**無價**］～に対して*
các bác sĩ chống dịch COVID-19.［Lệ Hà 2020: Báo Lao động］
各　医者　防ぐ　疫　新型コロナインフルエンザ
*（感染者の回復は新型コロナウイルスと闘っている医師にとって**何物にも代えられない**贈り物である。）*

以上の（18）の事例と日本語対訳からみれば、ベトナム語における ***vô giá***〔無價〕は「貴重な、金銭に変えられない」で「良い」意味を持っている。だが、（18）でみられるように、この価値は「物質的な価値」ではなく、主に、「精神的な価値」を指している。

「良い」と違って、「悪い」の意味は（19）のように、多くの語、特にXが人間の心的世界に言及しているものに確認されている。***vô vọng***〔無望〕は「望みがなくなった」、***vô lý***〔無理〕は「不合理な」、***vô bổ***〔無補〕は「利益をもたらさない」、***vô cùng***〔無窮〕は「終わりがない」を意味している。このように、Xは *hy vọng*（希望）、*hợp lý*（合理的な）、*bổ ích*（役に立つ）、*tận cùng*（最終的に）の略で、どちらもプラスの意味合いを持っている。

(19) *Anh Hai bỏ phứt cái chuyến hành hương* ***vô vọng*** *về dĩ vãng*
*兄貴 やめる きっぱり あんな CLF 巡礼 [**無望**] へ 過去*
này đi. ***Vô lý,*** ***vô bổ*** *và* ***vô cùng*** *!*
*この 命令語 [**無理**] [**無補**] と [**無窮**] !*
*（兄貴、この**絶望的**な過去への巡礼はやめよう。**ばかばかしい**し、**役に立たない**し、**きりがない**！）*

また、ベトナム語の造語でも、その意味特徴として「悪い」が読み取れる。代表は、***vô lo***〈無・懸念する〉と ***vô lối***〈無・道〉である。***vô lo***〈無・懸念する〉は「考えもない、または考えることが無い」を意味し、「呑気な態度」「考え一つもない」を非難する場合もある。***vô lối***〈無・道〉は話し言葉として「いかなる理由によるものでもない、正しい、常識に反する状態・様子」を示す。ここで、***vô lối***〈無・道〉は「道がない」より、「道が悪い」と理解される。

(20) *a. Anh thì* ***vô lo,*** *vô lự, tình hình nước sôi lửa bỏng*
*あんた TOP **無考えな**、無慮な、状況 水 沸騰する 火 焼ける*
như thế này mà cứ ngồi yên ở nhà.
このような が ずっと 座る 静かな に 家。
*（あんたは**本当に無思慮な**の？こんな緊張事態なのに、家にじっと座っていた。）*

b. Cạnh lời phê tàn nhẫn và giễu cợt ***vô lối*** *đó là con*
*そば 評語 酷い と からかう **無闇な** その COP CLF*
số 1 to tướng nhọn như một mũi tên.
数字 1 大きい 尖る ～のような 一 矢
*（冷酷で**ひどく**嘲笑的な批評のそばに、一本の矢のように鋭い大きな数字 1 が私の回答用紙に書いてある。）*

この「良い」と「悪い」の二つの意味合いは ***vô***〔無〕ではじまる語の全体

の意味だと言えるが、***vô***〔無〕それ自体の意味ではない。この「良い・悪い」は「甚だしい」という高度な様子・程度を表す意味特徴から派生していると考えられる。なぜかというと、***vô***〔無〕ではじまる語は量的価値「多い」「少ない」を持っているから、その量の多さが極めて「少ない」または「多い」場合、「甚だしい」という程度評価へ転化できると言われる［チャン　2022: 193］。しかし、語義の性質、つまり良し悪しはXの性質、そして文脈にも左右されている。この点に関して、第5節で詳しく説明するが、簡単に言えば、「Xが良ければ、語義が悪い」、「Xが悪ければ、語義が悪くない」が一般であろう。

また、***vô***〔無〕それ自体には、「甚だしい」という意味特徴をもつと思われる。この意味は、***vô biên***〔無邊〕、***vô hạn***〔無限〕で***vô***〔無〕が「限界、境界」を示す要素と、または***vô số***〔無數〕で***vô***〔無〕が「数量」を示す要素と結合している語からは、「甚だしい」が読み取れる。

（21）*a. Sân khấu có không gian **vô biên** và thời gian **vô hạn** ... đủ sức*
*舞台　ある 空間　［**無邊**］と 時間　［**無限**］ 十分になる*
tạo ra　cho mình những kiệt tác.
作り出す に 自分 PL　傑作
*（舞台には**無限の**空間と**無限の**時間があり、自分だけの傑作を生み出すのに十分である。）*
*b. Tôi đã đọc **vô số** sách viết về　sự cô đơn.*
*私 ANT 読む［**無數**］本 書く について 孤独感*
*（私は孤独についての本を**数多く**読んだ。）*

実際に、（21）で示されている語は、比喩的に使われる。「舞台」には一定の空間と時間のみあり、「本」を多く読んでも、その冊数は有限である。そのため、***vô***〔無〕ではじまる語は、事実を忠実に述べるのではなく、その程度を強調するのに使われるのであろう。そのため、このような語では「甚だしい」と

いう意味特徴がよく見受けられる。

「甚だしい」という特殊な意味については、すでに言及されている。具体的に、ベトナム語における ***vô***〔無〕の意味には古代中国語の意味との相違点がある。中国語の「無（无）」は（22a）のように「ない」を意味し、「有」と反義関係を持っている。また、「無」は（22b,c）でみられるように、昔の書き言葉として文語文に使われ、「不」のように、後ろの動詞と結合している。具体的には、（22b）では「無」が「…しない、…しないもの（人）はない」を、（22c）では「…しない、…するな」を意味する。

（22）a. 從無到有.　［中国語成語］

Cóng ***wú*** *dào yǒu*

から　無　来る　有

（無から有になる）

b. 無學問，恭謹無與比.　［荀子勧学第一篇］

Wú *xuéwèn, gōngjǐn* ***wú*** *yǔ bǐ.*

NEG　学問　つつしむ　NEG　に　比べる

（学問はないが、謙虚で慎み深いという点では比べられるものは誰もいない。）

c. 君子食無求飽，居無求安.　［論語学而篇第一（14）］

Jūnzǐ shí ***wú*** *qiú bǎo, jū* ***wú*** *qiú ān.*

君子 食べ物 NEG 求める 腹いっぱい 住まい NEG 求める 安らかさ

（君子は、食事は腹いっぱい食べることを求めない、住居は安らかさを求めない。）

（22）から、古代中国語における「無（无）」は、「存在性の否定」以外に、「行為性の否定」としても機能することが分かる。一方、現代ベトナム語では、「存在性の否定」のみを受け継いだベトナム語の ***vô***〔無〕は、***vô khối***〈無・塊〉のように、固有語の X と結合できる際、それぞれの概念を否定せず、むしろ

程度を強調し、X の価値を肯定するという［TĐTV 2020: 1772］。また、***vô***〔無〕に限らず、***bất chợt***〈不・不意に〉（突然に、思わずに）、***bất thình lình***〈不・いきなり〉（突然に、にわかに、一挙に）などのように、***bất***〔不〕も後ろの X の価値を否定せずに、逆に強調する。その結果、本来否定的意味のみを持っていた「無」、「不」などは、ベトナム語で「甚だしい」という程度評価が大きく機能し、最終的に「多い」と「良い」などの意味に発展したと言える。

5. 後続の要素から見る *vô*〔無〕ではじまる語の意味

第 4 節の分析結果を踏まえて、ベトナム語における ***vô***〔無〕は“***không có***”（～がない）という否定的な意味をもっているが、***vô***〔無〕ではじまる語は語義全体で「ある」の意を表し、量の多寡を示す「多い」と「少ない」をもっていると思われる。しかし、この二つの意味特徴は、次のような事情で異なっている。意味特徴「多い」は顕著であるものの、***vô***〔無〕それ自体の意味ではなく、「甚だしい」から発生している。そのうちに、「少ない」は「多い」と比べて確認しにくいものの、***vô***〔無〕それ自体の意味特徴である。また、量の多寡を表すのみならず、***vô***〔無〕ではじまる語からは、質的価値、いわゆる程度評価「良い」と「悪い」も読み取れる。ただし、これは ***vô***〔無〕が後続の要素（以下「X」をいう）と結合した結果である。このように、X は ***vô***〔無〕の特殊な意味の存在にとって重要だと思われるため、その役割を追究する必要性がある。

本稿はベトナム語における ***vô***〔無〕と結合する X に対して、次の 3 点について追及する。第一に、X の意味内容は現実的な世界に存在している概念であるか、心的世界に存在している概念であるかを明確に区別する。また、存在していても人間が把握できない「限界、境界」を言及しているかどうか中間的なものであるかにも注目している。第二に、X の内容は ***vô***〔無〕と結合した後、意味が否定されるかどうか。特に、否定されず、逆に X の内容を強調される語に注目している。第三に、X の性質は人間にとって良いかどうか。特に、普

段、X が特別なニュアンスを示さないものの、***vô***〔無〕と結合してはじめて意味合いを読み取れる X があるものに着目している。その結果、この 3 点を配慮しながら、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語を次のように 3 つのグループに分け、それぞれの特殊な意味を検討する。

(1) A グループ：***vô*** + X（実世界の概念）

A グループでは、X が実世界、つまり実際に存在する対象を示すため、***vô***〔無〕は典型的な意味で、「X が存在しない」ことを意味する。また、X が潜在的意味合いを示しているかどうかに着目したことで、このグループをさらに 2 つの小グループに区別している。

(23) a. A1 グループ：*vô bào*〔無胞〕、*vô can*〔無干〕、*vô căn*〔無根〕、*vô chính phủ*〔無政府〕、*vô cơ*〔無機〕、*vô điều kiện*〔無條件〕、*vô định*〔無定〕、*vô hình*〔無形〕、*vô luận*〔無論〕、*vô lực*〔無力〕、*vô nghiệm*〔無験〕、*vô ngôn*〔無言〕、*vô sản*〔無産〕、*vô thanh*〔無聲〕など.

b. A2 グループ：*vô căn cứ*〔無根據〕、*vô chủ*〔無主〕、*vô cớ*（無故）、*vô gia cư*〔無家居〕、*vô giá trị*〔無價値〕、*vô phương*〔無方〕、*vô sinh*〔無生〕、*vô tích sự*〔無積事〕など.

A1 グループでは、***vô***〔無〕ではじまる言葉の中で、語数が多くない。意味に関して、実存している対象が、現時点では確認できないことを表す語が含まれる。代表は ***vô căn***〔無根〕である。***vô căn***〔無根〕は「今かかっている病気、特定の症状を起こす原因が見つからないさま」［TĐTV 2020: 1772］を意味している。

(24) *Run* ***vô căn*** *là một rối loạn thần kinh đặc trưng bởi*
震える *[**無根**]* *COP 一 神経障害 特徴とする で*

run　　không　kiểm soát　ở　các　bộ phận　khác nhau　trên　cơ thể.
震える　NEG　制御する　に　PL　部分　　異なる　　に　身体
*（**本態性**振戦は、体のいろいろな部分で制御不能な震えを特徴とする神経障害である。）*

一般的に考えれば、人間が病気になったとき、何かしらの原因があると思われるが、***vô căn***〔無根〕はその想定に反している状況を示している。

A2 では、X の内容が実的世界に存在していることを示しているが、A1 の意味内容と異なる事情がある。それは、A2 の結合要素が「あったほうが良い」を意味しているという点である。ひいては、語義にマイナス的な傾向がある。

（25）*a. Nhà cửa　sao　ngập　rác　thế này?　　Đến　hớp nước cũng　không có.*
家屋　なぜ 満ちる ゴミ このように？まで 一口 水 も　NEG ある。
*Đây　**vô chủ**　rồi　chắc?*
*ここ［**無主**］PRF の？*
*（なぜ家はこんなにゴミだらけなの？一口の水すらもない。この家は本当に**無秩序**そのものになるの？）*

*b. Tài sản **vô chủ**　là　tài sản mà chủ sở hữu　đã　từ bỏ　　quyền sở hữu*
*財産［**無主**］COP 財産　REL　所有者 ANT 放棄する 所有権*
đối với　　tài sản　đó.
に対する 財産　その
*（**無主**の財産とは、所有者がその財産に対する所有権を放棄したものである。）*

［2015 年ベトナム民法第 228 条］

vô chủ〔無主〕は「持ち主がない、引き受け手がない、見捨てられた」を意味している［TĐTV 2020: 1773］が、その「主のいない」状況は現時点の状況であろう。なぜかというと、（25）で示されているように、普段、どの家庭で

も主人がいる、どの財産でも所有者がいるというのが一般的な考え方であるからである。***vô***〔無〕と結合すると、その「主」が今は確認できないと思われる。

(2) B グループ：***vô*** + X（「境界」を表す概念・行為）

グループ B の語は、「甚だしい」という独特の意味が多く発生する。その独特な意味は、X が「限界」を示しているからである。このようなグループ B の語は、X の品詞性、いわゆる名詞性（モノ的）か動詞性（コト的）かによって、2 つの小グループに分けられる。

(26) a. B1 グループ：（イ）空間の広い：*vô biên*〔無邊〕、*vô bờ*〈無・岸〉、*vô chừng*〈無・程〉、*vô cùng*〔無窮〕、*vô cùng tận*〔無窮盡〕、*vô cực*〔無極〕、*vô hạn*〔無限〕、*vô ngần*（無垠）、*vô thượng*〔無上〕など.（ロ）時間の長い：*vô kì hạn*〔無期限〕、*vô tiền khoáng hậu*〔無前曠後〕、*vô thời hạn*〔無時限〕など.（ハ）数量の多い：*vô giá*〔無價〕、*vô hồi*〔無回〕、*vô khối*（無塊）、*vô lượng*〔無量〕、*vô số*〔無數〕、*vô vàn*（無萬）など.

b. B2 グループ：（イ）比較できない：*vô đối*〔無對〕、*vô địch*〔無敵〕、*vô song*〔無雙〕、*vô tỉ*〔無比〕など.（ロ）計算できない：*vô tận*〔無盡〕、*vô kể*〈無・語る〉、*vô lủng*〈無・数えられる〉など.

B1 では、X が形而上学上の概念を表すものが多いと思われる。***vô biên***〔無邊〕、***vô bờ***〈無・岸〉、***vô cùng***〔無窮〕、***vô hạn***〔無限〕、***vô tận***〔無盡〕、***vô chừng***〈無・程〉、***vô cực***〔無極〕などのように、X は空間の概念を言及することが多い。だが、***vô kì hạn***〔無期限〕、***vô thời hạn***〔無時限〕などの時間の概念、***vô số***〔無數〕、***vô lượng***〔無量〕、***vô khối***（無塊）、***vô vàn***（無萬）などの数の概念にも言及している。そのうちに、空間的と時間的な概念を言及する語は X が明らかに「限界」を意味している。数量の概念に関して、私たちは特定の

範囲、限界を先に設けないと、計算できないのであろう。そのため、数量の概念であっても、「限界」を感じられる。空間、時間、そして数量の「限界」はそもそも変動しているため、絶対に取り除けない。そのため、***vô***〔無〕は「限界」の存在を否定することで、その「広さ、長さ、多さ」の程度が「甚だしい」状況を表せるようになる。(27) の ***vô biên***〔無邊〕、***vô cùng***〔無窮〕、***vô cương***〔無疆〕、***vô hạn***〔無限〕、***vô tận***〔無盡〕の実例である。意味的には「限りのない」から、「きわめて〜、とても〜、非常に〜」という意味を発生している。そのため、このような語は主に副詞として、前にある言葉・表現の程度・性質を強調している。

(27) *a. Cảm giác trống vắng, cô đơn, và mất mát thật thăm thẳm* ***vô biên****.*
*感覚　空虚な、孤独な、と 損失する 本当に 深々と［**無邊**］*
*(空虚感、孤独感および喪失感はとても深く**無限**である。)*

b. Đẹp ***vô cùng****, Tổ quốc ta ơi!*
*美しい［**無窮**］祖国　我　(呼びかけ語)*
*(**極めて果てなく**美しい、我が国！)*

c. Mừng người thọ khảo ***vô cương****.*
*祝う　貴殿　長寿　［**無疆**］*
*(あなた様に**つきることなき**長寿を祝いする)*

d. Trong ánh chiều thu muộn , khuôn mặt bà lặng lẽ toả ra
中　夕日　晩秋、　顔立ち 婆ちゃん 静かに 広がる
xung quanh một niềm ưu ái và xót thương ***vô hạn****.*
*周り　一　CLF 深い愛情　および　心を傷める［**無限**］*
*(晩秋の夕日に照らされて、婆ちゃんの顔に**深い**愛情とあるいつくしみの情が静かに広がった。)*

e. Trải ra ***vô tận*** *trước mắt anh bốn mươi năm đã qua của cuộc đời.*
*広がる［**無盡**］前　目　彼　40 年間　ANT 過ぎる POSS 人生*
*(過ぎた 40 年間の人生が彼の眼前に**限りなく**広がっている。)*

この「甚だしい」という意味特徴は、ベトナム語で独自に作りだされた言葉でも見られる。それは ***vô bờ***〈無・岸〉、***vô chừng***〈無・程〉、***vô ngần***（無垠）である。

（28）*a. Nhưng tôi không biết phải an ủi nó như thế nào trong khi*
しかし 私 NEG 知る ～べき 慰める 彼 どのように そのうち
lòng tôi cũng đang rầu rĩ ***vô bờ***.
自分の心 も PROG 悲しむ ***無限な***
*（しかし、私は彼をどのように慰めるか知らない。私も**限りなく**悲しんでいる。）*

b. Cái thay đổi ấy làm nàng bỡ ngỡ rụt rè, coi
CLF 変化 その～ 使役 彼女 茫然とする 萎縮する、見なす
nhà chồng là một nơi xa lạ ***vô chừng***.
嫁ぎ先 COP 一所 慣れない ***限りが無い***
*（その変化は彼女を少し恐れさせ、夫の家が**無限に**遠く離れている所に見えた。）*

c. Nếu cô ấy nhận lời về bên ấy với cậu phán nhà tôi,
もし 彼女 応じる 結婚する そっち と 通判坊ちゃん 私たち、
thì thực quý hóa ***vô ngần***.
なら 本当に 貴重 ***無垠な***
*（お嬢様がうちの通判お坊ちゃまの結婚の申し出に応じてくだされば、**何より**ありがたいことでございます。）*

一方、B2 の ***vô địch***〔無敵〕、***vô đối***〔無對〕、***vô song***〔無雙〕、***vô kể***〈無・語る〉にも「甚だしい」の意味が確認される。B2 では、X が動作・行為、いわゆるコト性を持っている。つまり、X が動作・行為を示している。ここで示されている動作は、「計算する、比較する」ことである。ここでも、私たちが物事を計算したり、比較したりする時、その対象の範囲を事前に設定すること、

つまり「限界」を確定することが重要であると考えられる。そのため、B1 と同時に、B2 も「甚だしい」という特殊な意味を持っている。

（29）*a. Vợ　anh cũng nhiều lần chì chiết đay nghiến "Nếu có môn thi*
奥さん 彼 も 多い 回 咎める 攻める "もし ある 試験
tụng kinh gõ mõ chắc anh giành chức ***vô địch*** *".*
*誦経する 木魚をたたく 必ず あなた 遂げる タイトル［**無敵**］*
*（奥さんが何度も彼のことを、「木魚をたたいて読経するテストがあれば、あなたはきっと**優勝する**はずだ」と揶揄する。）*

b. Trump tự tin ***'vô đối'*** *nếu không có*
*トランプ 自信がある［**無對**］もし NEG ある*
Covid-19.［Ngọc Ánh 2020: VnExpress］
新型コロナウイルス感染症
*（新型コロナ感染症がなければ、トランプ氏は（選挙で）**無双**の自信を持つであろう。）*

c. Sự lãnh đạo sáng suốt ***vô song*** *của chủ tịch Hồ Chí Minh.*
*指導 英名な［**無雙**］ POSS 主席 ホー・チ・ミン*
*（ホー・チ・ミン国家主席の**比類のない**賢明な指導。）*

d. Con đường chạy dọc công viên vào các khu tập thể lớn, 16h30,
CLF 道 走って延びる 公園 へ PL 集合住宅 大きい、16 時半、
người tan tầm đông ***vô kể****.*
*人 仕事が終わる 混んでいる **数えきれないほど多い***
*（いくつかの大きな集合住宅につながる公園沿いの道路は、午後 4 時半、仕事が終わって帰る人が**数え切れないほど多い**。）*

X がコト的、モノ的であっても、***vô***〔無〕がよく用いられ、B グループの意味では「甚だしい」が顕著であると思われる。だが、この「甚だしい」という意味特徴は後ろの X が「数の概念、または計算する」の意味を持てば、***vô số***

〔無數〕、***vô kể***〈無・語る〉で「多い」という意味特徴を発生させる。X が「比較する」意味を持てば、***vô địch***〔無敵〕、***vô song***〔無雙〕で「良い」という程度評価が発生する。それは ***vô địch***〔無敵〕、***vô song***〔無雙〕無が時には「一番、最も」に発展した結果だと思われる。

(3) C グループ：***vô*** + X（心的世界の概念）

C グループでは、X は、「人間が考えている世界」、いわゆる心的世界に関係している内容を言及している。C の特徴は X の物事が絶対存在しており、***vô***〔無〕でその存在は否定されても、その非存在は一時的、相対的に把握されていると思われる。C の分類に関して、X の性質が良いかどうかことによって分かれる。

(30) a. C1 グループ：*vô bổ*〔無補〕、*vô cảm*〔無感〕、*vô danh*〔無名〕、*vô dụng*〔無用〕、*vô duyên*〔無緣〕、*vô đạo*〔無道〕、*vô độ*〔無度〕、*vô giá trị*〔無價値〕、*vô giáo dục*〔無教育〕、*vô hậu*〔無後〕、*vô hiệu*〔無効〕、*vô học*〔無學〕、*vô hồn*〔無魂〕、*vô ích*〔無益〕、*vô kế khả thi*〔無計可施〕、*vô kỉ luật*〔無紀律〕、*vô lại*〔無賴〕、*vô lễ*〔無禮〕、*vô lí*〔無理〕、*vô liêm sỉ*〔無廉恥〕など.

b. C2 グループ：*vô hại*〔無害〕、*vô can*〔無干〕、*vô úy*〔無畏〕など.

C1 グループでは、X はプラスの意味合いであるため、語義がマイナスで、「良くない、悪い」。なぜかというと、「良い」とみられるものがなくなったら、明らかに「良くない」意味になるからである。そのため、***vô***〔無〕は X の存在性を否定するよりも、その価値を否定していると言える。例を挙げると、***vô học***〔無學〕は「無学の、教育を受けていない、教養がない（皮肉的な評価の意）」を意味している［TĐTV 2020: 1774］。(31) の例では、「大学を卒業した」または「マクロ経済の経営に参加している」ことは、「知識がない人」と言えない。

(31) *a. Tốt nghiệp đại học nhưng lại là loại* ***vô học****.* [TĐTV 2020: 1774]
*卒業する 大学 だが COP ～のたぐいの者［**無學**］*
*（大学を卒業したが、**学はない**奴だ。）*
b. Ông chủ doanh nghiệp nước hoa Thanh Hương, nhà tỷ phú lộ
主 営業 洪水 タイン・フォン、ビリオネア ばれる
nguyên hình là thằng ***vô học*** *móc cống dám*
*原形 COP 奴 ［**無學**］引っ張り出す 下水道 敢て*
len vào điều hành kinh tế ở tầm vĩ mô.
入り込む 運営する 経済 で マクロレベル。
*（タイン・フォン香水メーカーのオーナーであるビリオネアは、マクロ経済レベルでの経営にあえて挑戦したが、**無学**の男で下水道掃除の過去がばれた。）*

このように、***vô học***〔無學〕は「学識がない」ではなく、「学識からの効果がない」ことを意味している。*Người vô học*「無学者」は学校などで知識を習得していたが、学識がないに等しいほど効果がないものと思われる。そのため、***vô học***〔無學〕における ***học***〔學〕は知識、学識だけでなく、道徳・品行などをも意味している。一般的にベトナム語では、*học*〔學〕は単独で使われ、「学ぶ」ことを意味する。このように ***vô học***〔無學〕の *học*〔學〕は「学ぶ」という具体的行為から派生して「知識・学識」そして「道徳・品行」という抽象的な概念をさすようになった。

(32) *a.* ***Học*** *một biết mười*
学ぶ *一 知る 十*
*（一を**聞いて**十を知る、分かりが速くて聡明である。）*
b. Nhà có ***học*** *thì thường dùng những chữ đẹp để*
*家 ある **教育** TOP 常に 用いる PL 字 美しい ～のため*

đặt tên　cho con.
名づける　に　子
*（**教養**のある親は、子どもに意味深い言葉で名付けたことが多い。）*

c. *Mê tín dị đoan chỉ còn được những kẻ **vô học** để ý đến mà thôi.*
*迷信　異端　ただ　PASS　PL　奴［**無学**］気づく　に　だけである。*
*（迷信に気づくのは**無学**な人だけである。）*

また、その派生の過程は次のように再現できる。まずは、***vô***〔無〕が *học*［學］（知識・学識）の存在を否定することにより「学識がない」という意味が形成される。次いで、そこから「道徳・品行が欠如している」という意味が派生する。その派生義から *học*〔學〕の意味を再解釈すると「道徳・品行など」が抽出される。つまり、*học*〔學〕のような X の意味はメトニミー効果（行為→結果）として解釈され、現実世界の概念によって心的世界の概念を示す。このように、***vô***〔無〕が心的世界の概念を示す要素の前に立っても、X の不在ではなく、X の価値がない点のほうに注目しているのではないだろうか。言い換えると、***vô***〔無〕、つまり「存在しない」という意味で、***vô***〔無〕が典型的な意味で X の存在性を否定することを通じて、間接的に、X の価値性を否定していると考えられる。同時に、X という「望ましい」状態とつねに比較するため、「良くない、悪い」意味合いを ***vô*** X が帯びている。

一方で、C2 グループは少数だが、X が「ないほうが良い」の意味合いを持っている。***vô hại***〔無害〕は「害がない」を意味するが、***hại***〔害〕は現実の世界にもかかわらず、心的世界にも人間の評価によって下される［TĐTV 2020: 1774］。

（33）a. *Lời nói dối **vô hại** - tưởng như rất nhỏ nhặt nhưng đôi khi lại gây ra*
*嘘　［**無害**］思われる　とても　些細な　が　時に　引き起こす*
hậu quả　nghiêm trọng.［Nguyễn Việt Hải 2017: Ubrand.Global］
結果（好ましくない）重大な

*（**害のない**嘘 - 一見すれば他愛もないものだが、時には重大な結果を引き起こすことがある。）*

b. Trong　tất cả các　băng video, bọn trẻ con được　phép　　xem
中　すべて PL　ビデオ、　子供たち PASS　許可を得る 見る
*phim chưởng.　Người lớn　cho là　**vô hại**　so　　với*
*カンフー映画 大人たち みなす［**無害**］比べる と*
phim găng tơ　　Mỹ.
ギャング・マフィア映画 アメリカ
*（すべてのビデオのうち、子どもたちがカンフー映画の視聴を許可されている。大人はアメリカのギャング・マフィア映画に比べれば、そちらが**無害**だと考えている。）*

このように、***vô hại***〔無害〕はそもそも「害がないさま」を指すが、時間の変化によって「有害」になる可能性を否定できない。また（33b）では、香港のカンフー映画はアメリカのギャング・マフィア映画と同じく、暴力など子供たちにとって良くないため、害がないと言えない。だが、カンフー映画には、義理・人情などの教訓があるため、「害が少ない」、アメリカの映画と比べて「悪くない」の真意を読み取れる。このように、***vô*** X を X と比較することは、***vô*** X の意味を確認する上で重要であろう。言い換えると、C グループに属する語には対比、そして ***vô*** X に「欠ける」の意があることが明らかになった。

実は、グループ C では Johnson 1987 が述べた「容器」（CONTAINER）のスキーマ、特に「満・空」（FULL - EMPTY）のイメージ・スキーマを反映していると考えられる。X の表す「内容」（CONTENT）は「容器」の内部に、自由に移動できる。「容器」の内部と外部の世界との間に、境界線（BOUND）があり、「内容」はこの境界線を越えない［Johnson 1987: 30-40］。

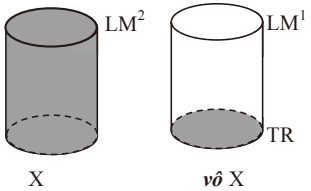

図 1　心的世界の概念の容器性

その際、容器にある内容がトラジェクター（*Trajector* = TR）、それを取り囲む枠がランドマーク（*Landmark* = LM）であると説明されている。しかし、***vô*** X は常に X と対比されるため、TR は単に自分の容器の LM^1 と対比するのみならず、X がいっぱいにある容器、いわゆる LM^2 とも対比し、「足りない」状況にあり、いわゆる「少ない」意味を持つ。また、この容器スキーマによって、C1 と C2 の意味合いの発生についても説明できるようになる。X が良ければ、***vô*** X が自然に「良くない、悪い」意味をもつようになるが、なぜ X が悪ければ、***vô*** X が「悪くない」を意味するが、「良い」にならないのか。それは、C2 の X（TR）が LM^1 だけでなく、LM^2 とつねに対比されるためである。LM^2 は危険性に満ちている状況を提示しているため、C2 の X はいつかその状況になることを人間の頭から除けない。したがって、C2 の本当のニュアンスはその危険性に満ちた状況に達していない、つまり「悪くない」状態だと思われる。

6. ***vô***〔無〕の意味についての再考

以上の分析を踏まえて、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語は単に「ない、存在しない」という意味を示すだけでなく、量の多寡、良し悪しの程度評価を示すことができることが明らかになった。もちろん、それらの特殊な意味は、***vô***〔無〕それ自体の意味だけでなく、後ろの要素の性質も加味した上でのものであることが明確になっている。しかし、なぜ ***vô***〔無〕が語義全体で「有る」意を示せるか、そしてなぜその「有る」から「多い」「少ない」の量的価値、「甚だしい」、「良い」か「悪い」の質的価値が発達するかを明確にしなければならない。

(1) ***vô***〔無〕が「有る」という意味を示せるか？

普段、***vô***〔無〕ではじまる語が「有る」という意味を示せることを確認するため、その語が含まれている文脈全体を検討しなければならない。(34) の事例では、文脈、特に波線の部分を念頭に考えれば、***vô***〔無〕ではじまる語は X

の存在を確認できるようになる。

（34）*a. Không có　khán giả thì　mọi　sáng tạo　của　đạo diễn, diễn viên　trở nên*
NEG　いる　観客　TOP 全ての　創造　POSS　監督、俳優　～になる
vô nghĩa.
*［**無義**］*
*（観客が来ないと、全ての監督および俳優の独創性は**無意味**になる。）*

b. Những　hy vọng tìm kiếm　người con trai　của　đại tá　Thuỷ　ngày càng
PL　希望　捜索する　CLF　息子　POSS　大佐　トゥイ　ますます
vô vọng.
*［**無望**］*
*（トゥイ大佐の息子を見つけるという希望はますます**絶望的**になった。）*

*c. Nhiều　cảnh phim　tưởng như　**vô lý**　nhưng　lại là　tình tiết　được*
*多く　シーン　見える　［**無理**］が　実は　エピソード　PASS*
đạo diễn　dày công　cài cắm　thông điệp.
監督　骨折りする　織り込む　メッセージ
*（映画の多くのシーンは**理不尽**だと思われがちだが、実は監督のメッセージが込められたものである。）*

（34a）では、監督や俳優の創造・努力には、本来の意味があっても、観客に認められなければ、意味がないと解釈される。（34b）では、息子を見つける希望が徐々になくなると言える。（34c）では、監督のメッセージはよく注意しないと、感じられないであろう。このように、***vô***〔無〕ではじまる語には、本来 X の存在があるが、一時的に確認されていない。***vô***〔無〕ではじまる語には、広い背景を検討すれば、X が全くないというわけではない。つまり、***vô***〔無〕ではじまる語を使う時に、人間は X が存在していることを前提にしているの

ではないだろうか。この点は Langacker 1991 が否定の本質について説明する際と、一致していると見られる。

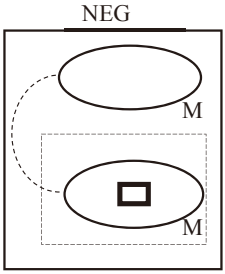

図 2　否定の認知図式（Langacker 1991：134）

Langacker（1991）は否定について論じた際、図 2 のように、否定の空間を二つのメンタルスペースによって示し、否定は対象（◘）が、ある空間（M）から外に出されたものであると説いている。つまり、否定の基本概念は存在と非存在の対比によって構成され、その両方の対比の認識こそが否定の表現である。これは「ある空間」が存在しなければ、否定が表現できないことを示唆している。所与の対象は特定の空間に限って見ればその存在が欠如しているが、全景を見ればそれを再確認できる。このように、ベトナム語における ***vô***〔無〕は、本来、「絶対ない」ではなく、「あったが、欠如している」の意を持っているのではないだろうか。

この ***vô***〔無〕の「欠如」の意味は有標性と無標性でも説明できる。Hofmann 1993 によれば、ある言語項目について、特定の性質が認められる場合には有標（*Marked*）とし、認められない場合には無標（*Unmarked*）とされる［Hofmann 1993: 21］。言語で見れば、有標の特徴は不自然、複雑、特異、予測不能である一方、無標は有標の正反対で、自然、単純、一般的、予測可能と見られる。そのため、認知からみれば、有標は無標と比べて、知覚的により目立つため、無標なものの存在を示唆する。太田 1980 によれば、肯定が聞き手にとって全く新しいと思われる情報を伝えるのに用いられるのに対して、否定は、聞き手が間違った情報を信じていると思われるような場合に、それを正すために用いられるため、否定されている事柄が聞き手にとって全く未知であるような文脈で、いきなり否定を用いることは異常である［太田　1980: 272］。そのため、「肯定は無標（*Marked*）で、否定は有標（*Unmarked*）である」と指摘している［太田　1980: 274］。

このように、ベトナム語の ***vô***〔無〕は語レベルで否定を示す要素であるた

め、「有標性」を示している。特に、***vô***〔無〕の使用は「存在の欠如」を述べるという点で、この「有標性」の特徴が明かになる。人間にとって、「有る」と言えば、物事が存在すると認知しているが、「無い」と言えば、物事が存在しないと言えない。なぜかというと、「存在する」ことは「存在しない」ことの前提である。このように、***vô***〔無〕は「いつも存在している状態」と異なることを訴え、語義全体で「不在、欠如」の意を後ろのXに添えている。言い換えると、***vô***〔無〕は、Xの概念が「有る」という前提に反し、その「欠如」をマークしている。また、***vô***〔無〕の有標性は、***vô***〔無〕ではじまる語とその反義語でも見られる。一般的に考えれば、***vô***〔無〕の反義語は、(35a) のように、***hữu***〔有〕ではじまる語だと思われる。しかし、***vô***〔無〕ではじまる語は必ず***hữu***〔有〕に言い換えが可能というわけではない。(35b) のように、ベトナム語の固有語である***có***（有る）という固有語が対応するケースが少なくない。

(35) a. ***hữu***〔有〕で対応される反義語のペア：*vô cơ*〔無機〕- *hữu cơ*〔有機〕、*vô danh*〔無名〕- *hữu danh*〔有名〕、*vô dụng*〔無用〕- *hữu dụng*〔有用〕、*vô duyên*〔無縁〕- *hữu duyên*〔有縁〕、*vô hạn*〔無限〕- *hữu hạn*〔有限〕、*vô hiệu*〔無効〕- *hữu hiệu*〔有効〕、*vô hình*〔無形〕- *hữu hình*〔有形〕、*vô ích*〔無益〕- *hữu ích*〔有益〕、*vô lý*〔無理〕- *hữu lý*〔有理〕、*vô sản*〔無産〕- *hữu sản*〔有産〕、*vô sắc*〔無色〕- *hữu sắc*〔有色〕、*vô sự*〔無事〕- *hữu sự*〔有事〕、*vô tài*〔無才〕- *hữu tài*〔有才〕、*vô tâm*〔無心〕- *hữu tâm*〔有心〕、*vô thanh*〔無聲〕- *hữu thanh*〔有聲〕、*vô tỷ*〔無比〕- *hữu tỷ*〔有比〕、*vô tình*〔無情〕- *hữu tình*〔有情〕、*vô tuyến*〔無線〕- *hữu tuyến*〔有線〕、*vô vọng*〔無望〕- *hữu vọng*〔有望〕など.

b. ***có***（ある）で対応される反義語のペア：*vô duyên*〔無縁〕- *có duyên*（人好きのする）、*vô hại*〔無害〕- *có hại*（有害）、*vô hạn*〔無限〕- *có*

hạn（限度がある）、*vô hạnh*〔無 - *có hạnh*（育ちが良く上品な）、*vô học*〔無學〕- *có học*（教養がある、学問がある）、*vô ích*〔無益〕- *có ích*（有益な、益に立つ、有用な）、*vô lí*〔無理〕- *có lí*（理にかなった、正しい）、*vô nghĩa*〔無義〕- *có nghĩa*（意味がある；誠実である、忠実である）、*vô nhân*〔無仁〕- *có nhân*（誠実な、情け深い）、*vô ơn*〔無恩〕- *có ơn*（恩がある）、*vô phúc*〔無福〕- *có phúc*（先祖の余徳で幸福な）、*vô tài*〔無才〕- *có tài*（才能がある、才能に恵まれている）、*vô tình*〔無情〕- *có tình*（人柄が優しい）、*vô tội*〔無罪〕- *có tội*（有罪の、罪を負っている）など.

c. その他：*vô cảm*〔無感〕- *tình cảm*〔情感〕・*đa cảm*〔多感〕、*vô định*〔無定〕- *xác định*〔確定〕・*cố định*〔固定〕、*vô độ*〔無度〕- *tiết độ*〔節度〕・*điều độ*〔調度〕、*vô lương*〔無良〕- *hiền lương*〔賢良〕、*vô lý*〔無理〕- *hợp lý*〔合理〕、*vô ơn*（恩知らずの）- *biết ơn*（感謝する、ありがたいと思う）、*vô mưu*〔無謀〕- *đa mưu*〔多謀〕、*vô nghĩa*〔無義〕- *trượng nghĩa*〔仗義〕、*vô phép*〔無法〕- *lễ phép*（礼儀作法正しい）、*vô sản*〔無産〕- *tư sản*〔私産〕、*vô sự*〔無事〕- *đa sự*〔多事〕・*nhiễu sự*〔擾事〕、*vô sỉ*〔無恥〕- *liêm sỉ*〔廉恥〕、*vô tài*〔無才〕- *đa tài*〔多才〕、*vô tư*〔無思〕- *ưu tư*〔憂思〕、*vô vị*〔無味〕- *thú vị*〔趣味〕（趣があって面白い、興味深い）など.

反義語の関係は、矛盾関係（*Contradictory opposition*）と反対関係（*Contrary opposition*）に大きく分けられる。矛盾関係は、二項対立的で中間段階を持たないものであり、反対関係は多項対立的で中間段階をもつものである［Horn 1989: 268-273］。ここでは、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語とその反義関係がある語からみれば、（35a,b）で主に矛盾関係、いわゆる「ある・ない」によって形成されていると思われる。しかし、*vô duyên*〔無縁〕- *duyên*〔縁〕（愛らしい）、*vô ích*〔無益〕- *ích*〔益〕（役に立つさま）、*vô phúc*〔無福〕

- *phúc*〔福〕（幸せ）、*vô nhân đạo*〔無仁道〕- *nhân đạo*〔仁道〕（博愛、慈悲）、*vô liêm sỉ*〔無廉恥〕- *liêm sỉ*〔廉恥〕（正直、潔白な）などのように、***vô***〔無〕ではじまる語の一部では、X それ自体が反義語になる。言い換えると、X それ自体が存在を十分に表せるため、***hữu***〔有〕と ***có***（ある）をつける必要性がない。それに対して、X の存在の欠如を示すために、必ず ***vô***〔無〕をつける必要があることがわかってきた。つまり、***hữu***〔有〕、***có***（ある）と ***vô***〔無〕は存在の有無を表す時、非対称性を示している。

また、（35c）でみられるように、***vô***〔無〕ではじまる漢越語の反義語は「ある」の意を持っている ***hữu***〔有〕と ***có***（有る）の以外に対応されているケースもある。そこでは、反義関係は矛盾関係ではなく、対立関係である。対立関係の特徴は、反義語の両者は一つのスケールでその価値がつながり、その間に中間的価値がある。特に、*vô mưu*〔無謀〕- *đa mưu*〔多謀〕、*vô tài*〔無才〕- *đa tài*〔多才〕では「多少」の対立を見られ、*vô ơn*（恩知らずの）- *biết ơn*（恩に着る）、*vô phép*（無礼、失礼、無作法）- *lễ phép*（礼儀作法正しい）、*vô sỉ*（恥知らず）- *liêm sỉ*（廉恥、恥を知る）で「良し悪し」の対立を見られる。言い換えると、反義語は「多い」「良い」を意味しているため、***vô***〔無〕ではじまる漢越語には「少ない」と「悪い」を実感できる。

まとめると、ベトナム語における ***vô***〔無〕とその意味は Johnson 1987 の容器性がある空間では、その「容器」自体は｛*Landmark*（LM）｝として、存在すべきモノ｛*Trajector*（TR）｝がその容器に確認できない（図 3 を参照）。また、ベトナム語における ***vô***〔無〕は本来存在してほしいような望ましい X（点線の円）がないことや、何らかの容器性の感じられる中に本来存在していると予測期待がされているような X が予測期待に反して存在していないことなどをも表す。そのため、***vô***〔無〕の基本的な意味が「無い」といっても、「実際はあったが、今はない」と「悪い」を結論づけることができる。

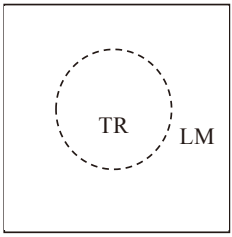

図 3　***vô***〔無〕の容器性

(2) *vô*〔無〕の量的価値と質的価値

このように、ベトナム語における ***vô***〔無〕は「有る」の意を表せると明らかになっている。しかし、その「有る」から「多い・少ない」、「良い・悪い」に発展できるか説明しなければならない。有光 2011 は、存在の有無を表す根源的な対比「ある・ない」は存在の量の多さを表す「多い・少ない」から、量を大きさで見立てた場合「大きい・小さい」、量を力の強さだと「強い・弱い」などに、さらにそれが質感、価値判断など高度に抽象的な方向の対比概念（生・死、善・悪、美・醜）へ展開している［有光　2011: 74］。「多い・少ない」、「良い・悪い」という対比は、存在するものに付加される概念であるため、「ある」の方に属しているが、「絶対ない」ではなく「ある」をも示す ***vô***〔無〕の形式にも付加しうる。そのため、「多い」と「少ない」の量の多寡、「良い」と「悪い」の程度評価は、***vô***〔無〕それ自体から発生できると結論づけることができる。

また、有光 2011 が否定の用法においては、「FROM QUANTITY TO QUALITY」、つまり、「量から質へ」という認知的動機づけが機能していると指摘している［有光　2011: 129-131］。特に、量から質へ転化することは「MORE IS GOOD、LESS IS BAD」に注目されている。つまり、大きな量・程度や小さな量・程度を表す言葉を通じて、対象への価値的な評価や態度が表れるからである。このように、***vô***〔無〕における「少ない」と「多い」はそれぞれが「悪い」と「良い」へ転化できると考えられる。実はこの認知概念は「少ない」から「悪い」へ転化することは正しいが、「多い」から「良い」へ転化することはあてはまらない。第 5 節で分析した通り、グループ C、特に C1 では、X が「良い、望ましい」概念であるため、X が「少なければ少ない」ほど、語義が「良くない、悪い」。そのため、LESS IS BAD を忠実的に反映している。一方で、「多い」はグループ B で多く確認されても、「良い」を含意する語は少ない。***vô số***〔無數〕などの「多い」を持つ語の価値は文脈に依存している。

(36) *a. Ở　tuổi 16, Trần Khánh Linh　đã　giành　được* ***vô số***
*～に 16歳、チャン・カイン・リン ANT 獲得する RES［**無數**］*
huy chương tại các cuộc thi trượt băng quốc tế.
メダル　に PL CLF　コンテスト フィギュアスケート 国際
*（16歳のチャン・カイン・リンは国際フィギュアスケート大会で**多くの**メダルを獲得した。）*

b. Không gian ba chiều, thời gian hai chiều còn con người có ***vô số*** *chiều.*
*空間　三次元 時間　二次元 一方 人間 ある［**無數**］次元*
*（空間は三次元、時間は二次元からなるが、人間は**無限**の次元を持っている。）*

c. Năm năm đại học tạo điều kiện cho cả hai bên tích luỹ ***vô số*** *khuyết điểm*
*5年　大学 作る 条件　～に 両方　貯める［**無數**］短所*
của bạn.
POSS 友
*（大学生活の5年間は、お互いが相手の短所を**数多く**知る機会を与えた。）*

vô số は（36a）では「多い」という量的価値が「良い」を意味しているが、（36b,c）では、「多ければ多いほど」「良い」とはいえず、逆に良くない意味を持つ可能性がある。この論点は、***vô***〔無〕ではじまる語に限らず、「多い」を意味する ***đa***〔多〕ではじまる二字漢語とその事例によっても明確になる。

(37) *Càng　đào　óc　mà　càng　nghĩ　không　ra,　càng*
ますます 深める 頭脳 が ますます 思い出す NEG 出る ますます

nghĩ lại không ra mới càng thêm khổ. Đó là
思う と NEG 出る やっと ますます 増える 苦しみ それ COP
*cái khổ chung của những kẻ **đa tư, đa lự, đa cảm, đa tình**,*
*CFL 苦 共通する POSS PL 奴［**多思 多慮 多感 多情**］が*
mà những người óc rắn như đá, ruột khô như rơm,
PL 人 頭脳 硬い～のような 石、腸 渇く～のように 藁、
không bao giờ biết cái khổ cao thượng ấy.
NEG いつ 知る CFL 苦 高尚な その
*（頭で深めれば深めるほど、考えられなくなり、考えられなくなったら、惨めになる。それは、**あまりにも思慮深く**、**ためらい**、**感傷的**で**感情的**になる人が共通する苦しみだが、脳が石のように硬く、腸がわらのように乾いている人は、その崇高な苦しみを決して知ない。）*

（37）では、***đa tư, đa lự***〔多思、多慮〕あるいは ***đa tư lự***〔多思慮〕は「やたらに気を配る、気配りをしすぎる」、***đa cảm***〔多感〕は「感じやすい、多感な、感傷的な」を、***đa tình***〔多情〕「心に感じることが多い、心に痛みを感ずることが強い」を意味している。その結果は「苦」につながっている。このように、***đa***〔多〕は「多い」の他に、「～過ぎる」という認知面の意味を表す。つまり、***đa***〔多〕は人間が期待する基準を超えてしまうため、「良い」ではなく「悪い」と理解される場合がある。その結果、ベトナム語における ***đa cảm***〔多感〕は「感傷的な」を、***đa tình***〔多情〕は「移り気な、好色の、浮気な」を意味し、明らかにマイナスの意味合いを持つ。***đa***〔多〕と同様に、***vô***〔無〕が「甚だしく多い」を意味する場合でも、必ずしも「良い」に発展する訳ではない。つまり MORE IS GOOD ではなく、むしろ MORE IS BAD を反映する。

最後に、なぜ ***vô***〔無〕が否定性のある「無い」から「多い」と「良い」など積極的で強調する意を表せるかについて、本稿では、***vô***〔無〕が「甚だしい」から発生した結果だと結論付ける。有光 2011 によると、（38）のように、

英語や日本語などの諸言語では、恐れや酷さなどを表す否定的価値をもつ表現は、否定的価値を表すだけでなく、口語では純粋に程度が大きいことを表す強調語のようになっている。

（38）a. John's exam was ***awful***.
*（ジョンの試験結果は**ひどかった**。）*
b. She is ***awfully*** kind to me.
*（彼女は私に**大変**親切だ。）*
c. 彼の歌は***ひどい***。
*（彼は歌が**下手**だ）*
d. 彼は***ひどく***笑っていた。
*（彼は**大変**笑っていた。）*

［有光　2011: 130］

（39）a. Mẹ chồng　cô　rất　***ghê***.
*姑　彼女　とても　**酷い***
*（彼女の姑は**ひどい**。）*
b. Chiếc　váy　mới　đẹp　***ghê*** !
*一着（CFL）ドレス　新しい　素敵　**ひどく～***
*（新しいドレスは**すごく**素敵だね！）*

（39）でみられるように、有光の理論はベトナム語でも確認されている。否定の基盤の一部は基準からの逸脱であり、否定性が強い言葉（***awful***、ひどい、***ghê***）で大きな程度を表すようになるのは、基準からの極めて大きな逸脱だからである［有光　2011: 132］。***vô***〔無〕は否定を基盤にしており、原義の「絶対ない」で存在の否定や欠如の結果を表しているため、高度な否定的価値をもっている。そのため、***vô***〔無〕は特別かつ目立った状態を強調する漢語の構成要素として、***vô số***〔無數〕、***vô lượng***〔無量〕の「多い」や ***vô vàn***（無萬）、***vô khối***（無塊）の「甚だしい」の意味特徴、そして ***vô giá***〔無價〕の「良い」

というプラス的な評価を表せるのであろう。そして、***vô***〔無〕で膨大な数量や甚だしい程度を表すのは、長い間にその意味合いが固定され、最終的に言葉の語義になったと思われる。

7. まとめ

本稿は、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる漢越語・派生語とその実例を研究した結果、***vô***〔無〕からなる語には特殊な意味があることを明確にした。また、この特殊的な意味とその発生過程を追求したことで、ベトナム語における ***vô***〔無〕に対する意味理解を深めることができた。 次のような 3 点に、本稿の成果をまとめる。

一つ目、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語は典型的な意味「～ない」以外に、量の多寡を表す意味特徴「多い」と「少ない」を表せる。一見すれば、意味特徴「多い」を持つ言葉が多く、意味特徴「少ない」を持つ語が少ないが、文脈を配慮すると確認できるようになる。それにとどまらず、***vô***〔無〕ではじまる語には、語義全体で「良い」「悪い」ニュアンスが確認される。だが、この 2 つの意味合いは ***vô***〔無〕と結合する要素の性質、文脈に左右されているため、***vô***〔無〕それ自体の意味ではない。一方、「良い」「悪い」を発生させる「甚だしい」は ***vô***〔無〕それ自体にあり、***vô***〔無〕の本来の質的価値と考えられる。この「甚だしい」はベトナム語の造語で多く確認され、その言葉の「多い」と「良い」などプラスの意味に発展している。

二つ目は、ベトナム語における ***vô***〔無〕ではじまる語の特殊な意味は、特定のグループに確認され、結合要素の性質と関係している。具体的には、「多い」は後続の要素が「数量」に関連する語に集中している。「少ない」は人間の「品位・道徳」をはじめ人間の心的世界を言及する語に集中している。「甚だしい」は後続の要素が「限界、境界」を示す語に集中している。「甚だしい」から発展した「良い」は主に文脈に依存している。「悪い」は「少ない」とともに出現し、後続の要素がプラス的な語に確認される。その際、***vô***〔無〕は皮

肉、批難のニュアンスを語義に付加している。このように、ベトナム語における ***vô***〔無〕は意味が豊かで、拡張性と柔軟性があると言える。

三つ目は、認知言語学などの諸理論でベトナム語における ***vô***〔無〕の意味を分析した結果、ベトナム語の ***vô***〔無〕を再考することができた。***vô***〔無〕は単純に「ない、存在しない」ではなく、「あったが、今はない」、時間の経過によって「ある」から「ない」へ変化した結果である。また、***vô***〔無〕は、単純に存在と不在に限らず、現実と想定、期待と失望など、人間の認知を反映している。このように、***vô***〔無〕は「全くない」という絶対的な状態ではない、相対的に把握すれば「欠如」のほうが適切な解釈だと思われる。

最後に、古代中国語に由来する ***vô***〔無〕はベトナム語における新語の形成に用いられたが、ほとんどの語は「甚だしい」という程度評価を採用し、「多い」という意味に発展した。この点から、ベトナム語の ***vô***〔無〕は、本来の意味よりも独特の意味を発展させる傾向があると考えられる。今後の課題としては、***vô***〔無〕ではじまる語全体の意味、及び文脈内での意味という環境の違いから説明することが極めて重要であり、本稿でまだ議論していないところを別の論文で議論したい。そして、ベトナム語で借用された ***vô***〔無〕と中国語・日本語・朝鮮語における「無」との意味について比較し、漢字文化圏における「無」の受容・発展について対照し、それぞれの発展の独自性を考察したい。

［注］

1　ベトナムにおける漢越語の数をめぐり、研究者の意見がまとまらない状態にある。最も支持されるのは、ベトナムにおける漢越語の比率が全体 60~70％を占めているということである。しかし、最新の研究を行った Phạm Hùng Việt 2018 によると、Vietlex 2011 の『*Từ điển Tiếng Việt*』（ベトナム語辞典）に収録されている 45,850 項目数のうち、単音節語も含めば 16,117 項目が漢越語だと統計された。いわゆる、ベトナム語における漢越語の数が 35.15％であるという［Phạm Hùng Việt 2018: 348］。

2　漢語から借用したベトナム語彙に関しては、Nguyễn Văn Khang 2007 が借用の時期や方式によって、4 つに分類している。
・漢越語（*Từ Hán Việt*）：体系的なベトナム漢字音－漢越音 によって読まれるもの。
・古漢越語（*Từ Hán Việt cổ*）：漢越語成立以前に、非体系的に受容されたもの。
・越化漢越語（*Từ Hán Việt Việt hóa*）：漢越語の一部が、音声変化してできたもの。

・漢語方言音摸倣語（*Từ Hán Việt phỏng theo phương ngữ Tiếng Hán*）：中国南部からベトナムへ移住した華人がもたらした。

このように、漢越語がベトナム語における漢語に由来する語彙を指すというのは、広義的な解釈であり、Nguyễn Thiện Giáp の定義は狭義的な解釈である。

3　本稿では以下、ベトナム語の漢字表記がある場合、ベトナム語の正書法の後〔　〕で表記する。漢字表記は、Vietlex 2020 の『*Từ điển Tiếng Việt*』（漢語起源語には漢字表記あり）に従う。混種語、つまり「無」とベトナム語の固有語からなる語では〈無・＿〉で表示する。一方で、日本語による説明および語・表現の意味は（　）で表記する。

4　『ベトナム語辞典』では、Vị từ「謂詞」とはベトナム語で、文の述語として直接機能することができる動詞と形容詞が含まれるカテゴリを指す［Vietlex　2020：1762］。Bổ ngữ「補語」は 動詞、形容詞の後ろに置かれる補足的な表現、部分である。［Vietlex 2020：135］）また、『言語学概念辞典』によれば、Vị từ「謂詞」（*Verb*）とは、「行く、見る、分かる、走る、歌う、投げる、あげる、死ぬ、寝るなど」のように、物事の動作、状態や性質を表す語の一種である［Nguyễn Thiện Giáp 2016: 591］。Bổ ngữ「補語」（*Complement*）は、述語を完成させるために、「謂詞」の後に続く文の要素である。「補語」は、特定の「謂詞」に必要な専門的な情報を追加するために使用され、述語の主要な「謂詞」によって意味が制御される補助要素である。［Nguyễn Thiện Giáp 2016: 68-69］）

5　否定辞（*Từ ngữ phủ định*）とは、ベトナム語で否定の意を示す機能語である。

6　漢字「思」はベトナム語では二つの漢越要素で対応されている。一つは「tư」で、*vô* ***tư***〔無**思**〕がある。もう一つは、「tứ」で、*vô ý tứ*〔無意**思**〕、*vô ý vô tứ*〔無意無**思**〕などで確認されている。

7　本来はことわざの一種として扱われるが、本稿では構成上の理由から他のことわざと区別するため、個別に扱う。そのほかに、*vô công rồi nghề*〈無功・暇な・仕事〉（働かずに遊んでばかりいること）、*vô mễ thế khoai*〈無米替・芋〉（米がないなら芋で食べる）、*vô mễ thế tiền*〈無米替銭〉（米がないなら、お金で税を納める）、*vô tác gác mỏ*〈無作・しまい込む・口〉（働かないと、口にするものがない）、*vô thủy nghỉ ăn*〈無水（休む・食べる）（水がないと、栽培できない）、*vô nghệ đi hát, mạt nghệ đi câu*〈無藝・行く・歌う、末藝・行く・釣る〉（門付けも釣りも仕方なくやる仕事だ）など漢語の構成を採用しているものがある。

8　*Không có đất* ***dụng*** *võ*（腕を振るう場所を得ない）などで ***dụng*** を単独で使われる。

9　Nguyễn Thị Tân によると、外見からみれば、一見漢語をそのまま借用したように思われるが、実際 ***vô tri vô giác***〔無知無覚〕は *bất tri vô giác*〔不知無覚〕、*vô tri vô thức*〔無知無識〕と同様、*bất tri bất giác*〔不知不覚〕から派生したものだと指摘している。［Phạm Hùng Việt 2018: 264］

10　***vô khối***（無塊）に関して、漢越語であるかどうか意見が分かれる。本稿は *Từ điển*

Tiếng Việt の記述に従って、混種語に整理する。

11　本稿で引用される実例は Trung tâm Từ điển học（辞典学センター・Vietlex）が 1997 年に構築した *Kho ngữ liệu Tiếng Việt (Vietnamese Corpus*、ベトナム語コーパス *https://vietlex.com/kho-ngu-lieu*）から抽出されたものである。それ以外は実例の下に［　］で出典を示す。

【略号】ANT 既然の形式　CLF 類別詞　COP コピュラ　NEG 否定辞　PASS 受け身の形式　POSS 所有の形式　PL 複数の形式　PRF 完了　PROG 進行の形式　REL 関係詞　RES 可能の形式　TOP 主題の形式

［参考文献］

（日本語）

太田朗

1980　『否定の意味』大修館書店，　東京。

有光奈美

2011　『日・英語の対比表現と否定のメカニズム－認知言語学と語用論の接点－』開拓社，　東京。

川本邦衛

2011　『詳解ベトナム語辞典』大修館書店，　東京。

久保圭

2016　「日本語接辞にみられる否定の意味的多様性とその体系的分類」、京都大学大学院人間・環境研究科博士論文。

チャン　クォック　ヒエップ

2022　「日本語における「無」の意味についての研究―「無」ではじまる二字漢語を中心に―」『日本語日本文化研究』（32），182-196，大阪大学大学院言語文化研究科応用日本学コース。

冨田健次

1988　『言語学大辞典第二巻』（亀井 孝偏）三省堂，　759-787。

（ベトナム語）

Bửu Kế

1968　*Từ điển Hán Việt từ nguyên*, Nhà xuất bản Thuận Hóa, Huế.

Cao Xuân Hạo

2017　*Tiếng Việt mấy vấn đề ngữ âm - ngữ pháp - ngữ nghĩa*（Tái bản lần thứ nhất）, Nhà xuất bản Khoa học xã hội, TP. Hồ Chí Minh.

2021　*Tiếng Việt - Văn Việt - Người Việt*（Tái bản lần thứ hai）, Nhà xuất bản văn hóa dân tộc, Hà Nội.

Đào Duy Anh

1957 *Hán Việt từ điển giản yếu*（in lần thứ ba）, Nhà xuất bản Trường Thi, Huế.

Đỗ Phương Lâm

2003 "*Vô, phi, bất trong tiếng Việt*", Ngôn ngữ & đời sống số 12（98）, 5-8, Hà Nội.

Nguyễn Tài Cẩn

2000 *Nguồn gốc và quá trình hình thành cách đọc Hán Việt*, NXB Đại học Quốc gia Hà Nội, Hà Nội.

Nguyễn Thiện Giáp

2016 *Từ điển Khái niệm Ngôn ngữ học*, Nhà xuất bản Đại học quốc gia Hà Nội, Hà Nội.

2018 *Từ và Từ vựng học Tiếng Việt*（Tái bản lần thứ nhất）, Nhà xuất bản Đại học quốc gia Hà Nội, Hà Nội.

Nguyễn Văn Khang

2007 *Từ ngoại lai trong tiếng Việt*, Nhà xuất bản Tổng hợp Thành phố Hồ Chí Minh, TP. Hồ Chí Minh.

Phạm Hùng Việt, Trịnh Thị Hà, Lê Xuân Thại, Nguyễn Thị Tân, Lý Toàn Thắng, Nguyễn Thị Huyền, Nguyễn Hoàng Anh, Dương Thị Thu Trà

2018 *Từ ngữ Hán Việt tiếp nhận & sáng tạo*, Nhà xuất bản Khoa học xã hội, TP. Hồ Chí Minh.

Phan Ngọc

2000 *Mẹo giải nghĩa từ Hán Việt và chữa lỗi Chính tả*, Nhà xuất bản Thanh niên, Hà Nội.

Vietlex

2020 *Từ điển Tiếng Việt (có chú chữ Hán cho từ ngữ Hán-Việt)* , tái bản lần thứ 4, Hoàng Phê chủ biên, Nhà xuất bản Đà Nẵng, Đà Nẵng.

（英語）

Hofmann, Th. R.

1993 *Realms of meaning: an introduction to semantics*, Longman, London.

Horn, Laurence R.

1989 *A Natural History of Negation*, University of Chicago Press, Chicago.

Johnson, M.

1987 *The body in the mind: The bodily basis of meaning, imagination, and reason*, University of Chicago Press, Chicago.

Langacker, Ronald W.

1991 *Foundations of Cognitive Grammar*, Vol.2, Stanford University Press, Stanford.

1999 *Grammar and conceptualization*, Mouton de Gruyter, Berlin.

Nguyễn Đình Hòa

1997 *Vietnamese Tiếng Việt không son phấn*（London Oriental and African Language Library Volume 9）, John Benjamins Publising Company, Amsterdam/Philadelphia.

NGHIÊN CỨU VỀ Ý NGHĨA CỦA CÁC TỪ BẮT ĐẦU BẰNG YẾU TỐ HÁN VIỆT "VÔ" TRONG TIẾNG VIỆT

TRẦN QUỐC HIỆP

VÔ là yếu tố Hán Việt đã được mượn từ tiếng Hán cổ từ lâu, đã tạo ra nhiều từ mới với nhiều ý nghĩa đặc biệt trong tiếng Việt. Bài nghiên cứu tập trung vào các từ bắt đầu bằng yếu tố VÔ trong tiếng Việt đã làm rõ được kết quả như dưới đây.

Thứ nhất, các từ bắt đầu bằng từ VÔ không chỉ đơn thuần có nghĩa là "*Không*" mà còn có nghĩa là "*Có*" thể hiện thành các ý nghĩa biểu thị số lượng và đánh giá. Nghĩa biểu thị số lượng phân hóa thành 2 nghĩa là "*Nhiều*" và "*Ít*". Các từ có nghĩa là "*Nhiều*" như *Vô số, Vô khối, Vô lượng, Vô kể* và chỉ một số ít từ có nghĩa là "*Ít*", ví dụ như *Vô duyên*. Nhiều từ bắt đầu bằng VÔ có sắc thái "*Tốt*" và "*Xấu*". Tuy nhiên, bản thân hai sắc thái này không phải là nghĩa của VÔ, mà được tạo ra khi VÔ kết hợp với yếu tố đứng sau nó. Trong khi đó, nghĩa thể hiện mức độ cao "*Rất, lắm*" lại là nghĩa biểu thị đánh giá quan trọng của VÔ. Chính nghĩa này đã phát triển thành các nghĩa tích cực như "*Nhiều*" và "*Tốt*", được tìm thấy nhiều trong các từ do người Việt sáng tạo ra.

Thứ hai, ý nghĩa đặc biệt của các từ bắt đầu bằng yếu tố VÔ trong tiếng Việt được xác lập trong từng nhóm từ cụ thể và có mối liên quan chặt chẽ đến tính chất của yếu tố đi sau (gọi tắt là X). Cụ thể, nghĩa "*Nhiều*" tập trung vào các từ thể hiện khái niệm hay hành vi có liên quan đến "số lượng". Nghĩa "*Ít*" được xác nhận ở các yếu tố đề cập đến "phẩm giá hoặc đạo đức con người" như *Vô học, Vô tình, Vô tâm,…*

Nghĩa "*Rất, lắm*" tập trung vào những từ có yếu tố đứng sau biểu thị các "giới hạn" như *Vô biên, Vô hạn, Vô ngần, Vô cùng*,... Nghĩa "*Tốt*", ngoài từ *Vô giá* thì nghĩa này phải xác nhận trong ngữ cảnh cụ thể. Nghĩa "*Xấu*" xuất hiện nhiều cùng với nghĩa "*Ít*" và khi yếu tố phía sau vốn có sắc thái tích cực.

Cuối cùng, bằng các lý thuyết ngôn ngữ hiện đại về phủ định, chúng tôi đã xem xét lại bản chất của VÔ. Không đơn giản chỉ có nghĩa là "*Không có, không tồn tại*" mà VÔ có nghĩa là "*Đã từng có, nhưng bây giờ thì không* " ở từ *Vô chủ* hay *"Có, nhưng hiện giờ không xác nhận được*" ở từ *Vô căn*. Như vậy, VÔ đã phản ánh quá trình tri nhận của con người bằng sự đối sánh giữa tồn tại và không tồn tại, giữa thực tế và phỏng đoán, giữa kỳ vọng và thất vọng. Chính điều đó đã làm cho nghĩa của VÔ trở lên phong phú và độc đáo hơn.